



五月

浦加美香行
五月

御座
口取
御座

五月

浦加美香行

五月

浦加美香行

右記 御座



加賀

五ノ月廿一日

加賀藩

加賀藩

加賀藩

加賀藩



加賀

加賀藩

加賀

加賀藩

加賀

加賀藩

加賀藩

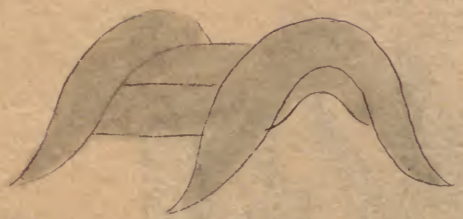
加賀藩

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

十月十日

此物同漢方海國一冊所列各物
所載之圖與此圖無異

此物同漢方海國一冊所列各物
所載之圖與此圖無異



葉

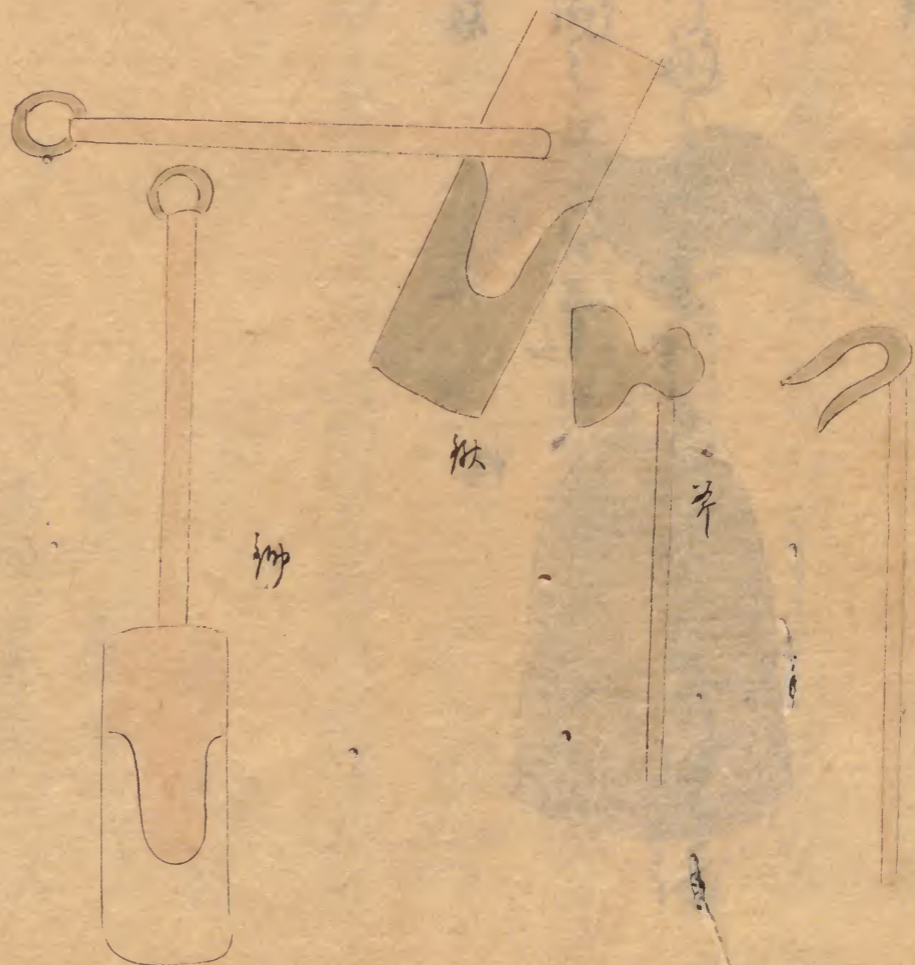
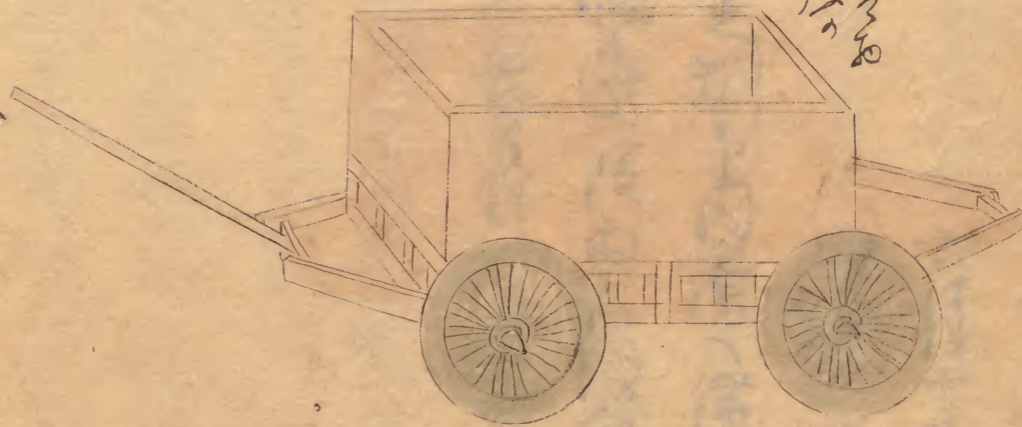


鐘

輜
ろ
車



此
を
通
す
る
に
は
二
三
分
ト
云



杖

斧

社



片右を押し

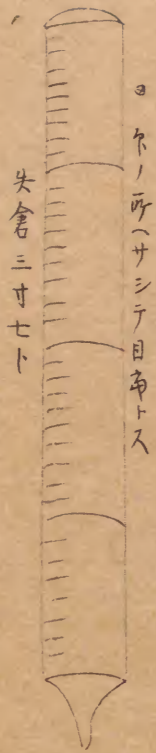
皮の筒あり
 上をさし入
 上水の流の
 水



片右を押し
 水車（片右）

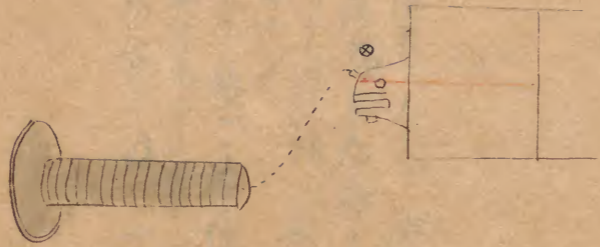
龍の水車
 の図





矢倉三寸七ト

トノ所(サシテ目布トス



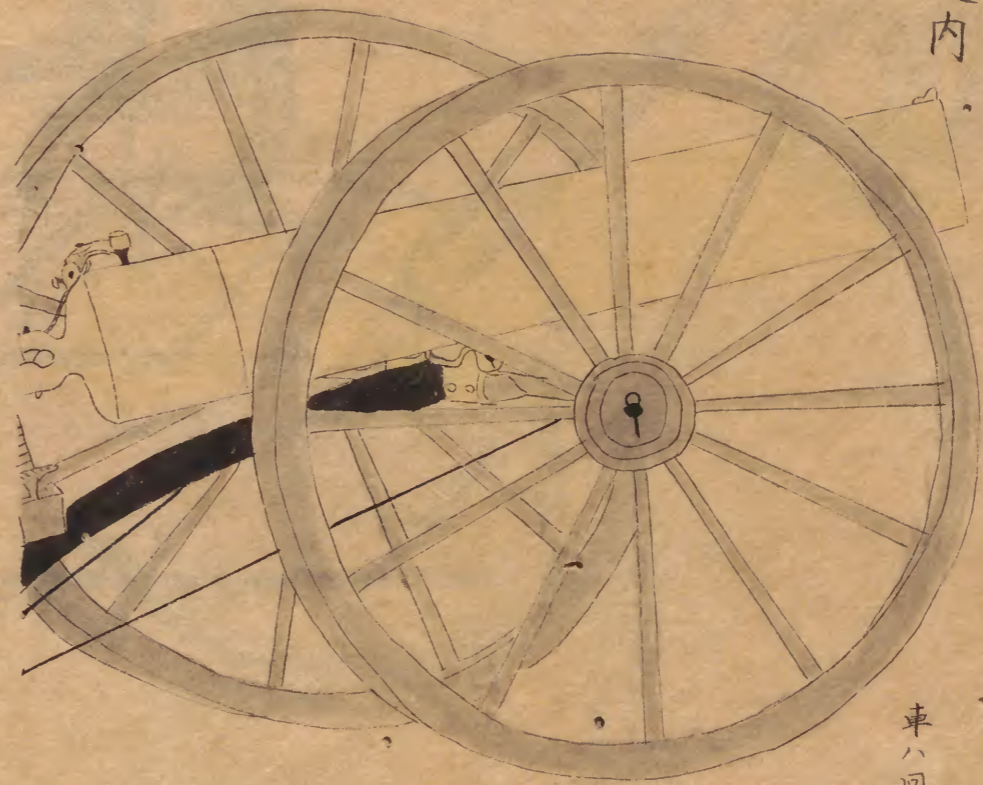
此機ヤノ所
ナリ

内鉄機師

福島左衛門

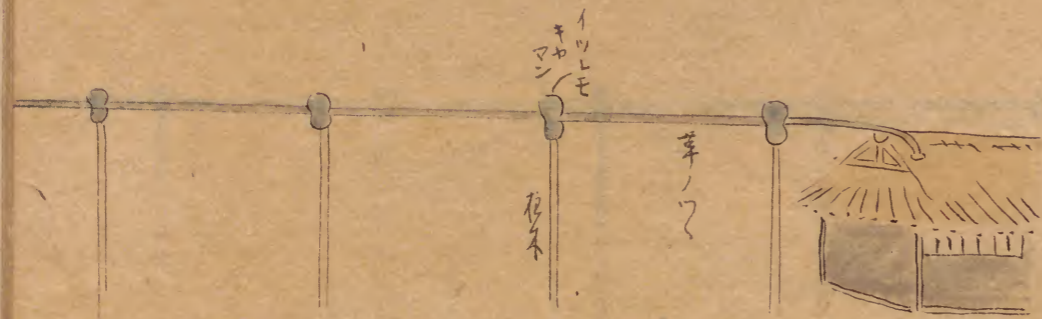
佐野守の作

重墨利加猷真之内
大炮真図

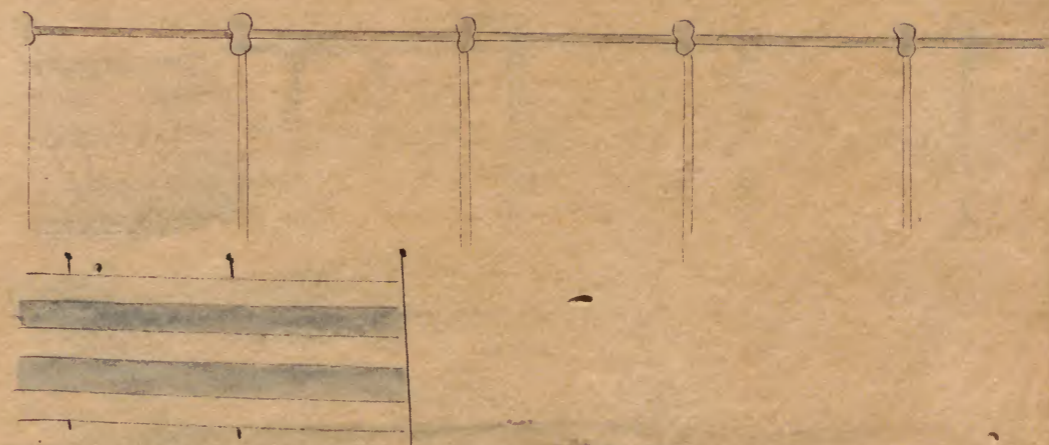
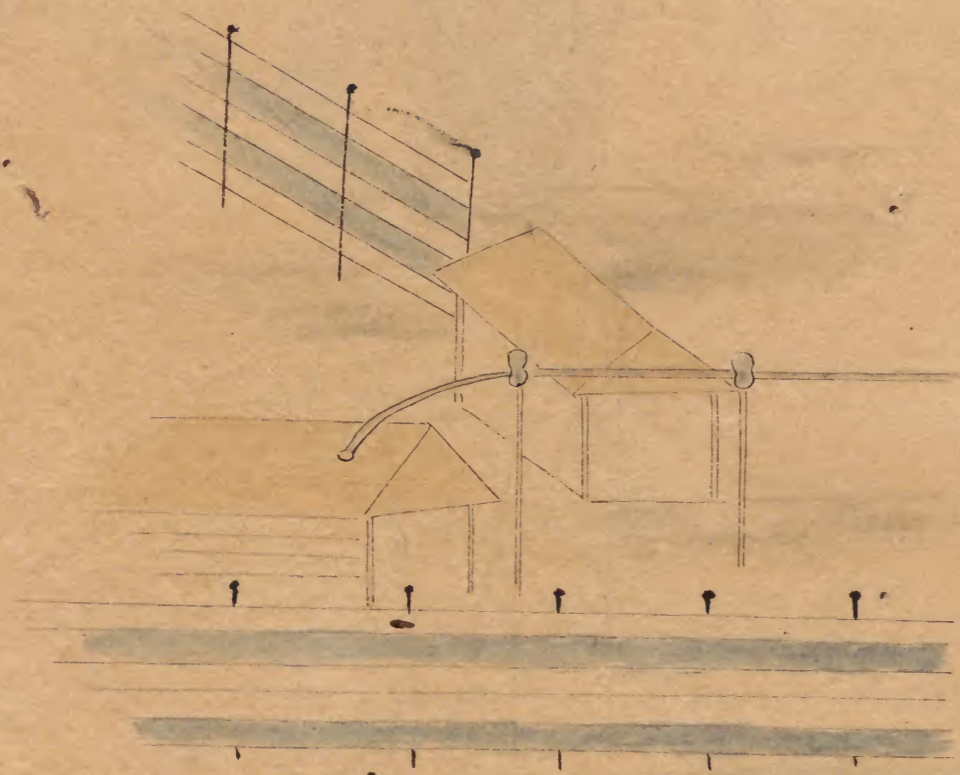


車八図ノ如ク
細シ

塔角をツナキテ屋上ヨリカケワタシ
 西極陽の極極ヨリハルカ限分先
 角ニテ流流ノ致ヲヤトリテ虫
 角ルヨシ
 地ニテ新ルニ為流を立ル事ノヨシ
 凡そモホトノ百ニテモ此名ヲワナケ
 ハ流流ヲ評ニヤのトルトイフ



碓氷





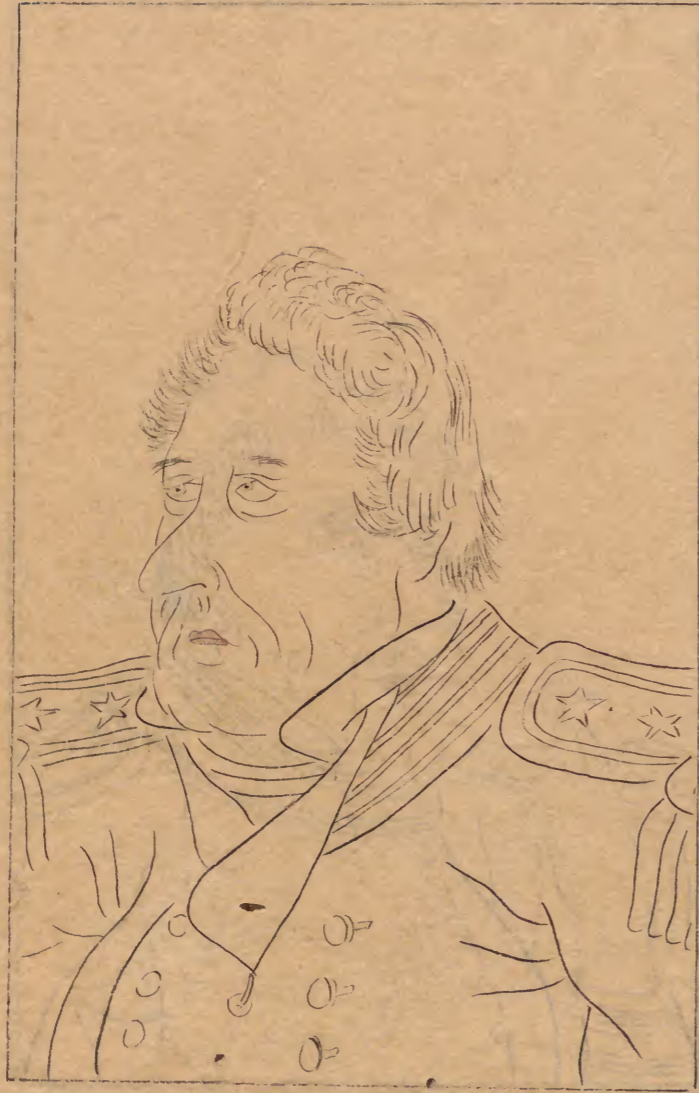
水軍隊長

コマンドアント

使節彼理上
陸之圖



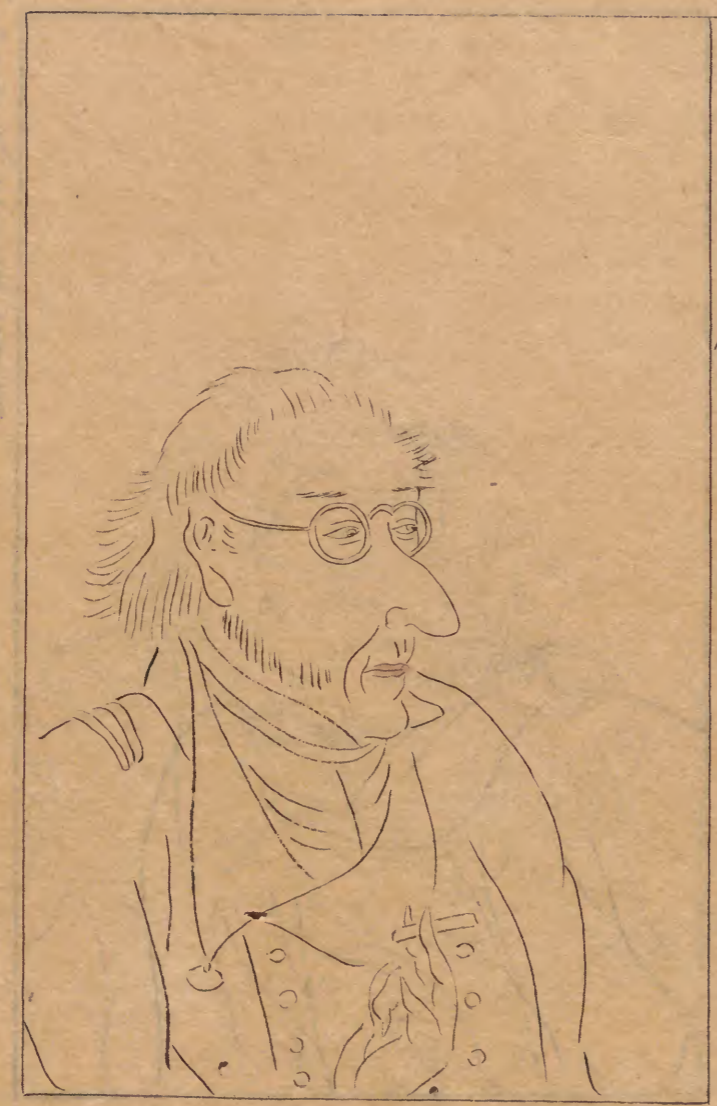
使節彼理肖像



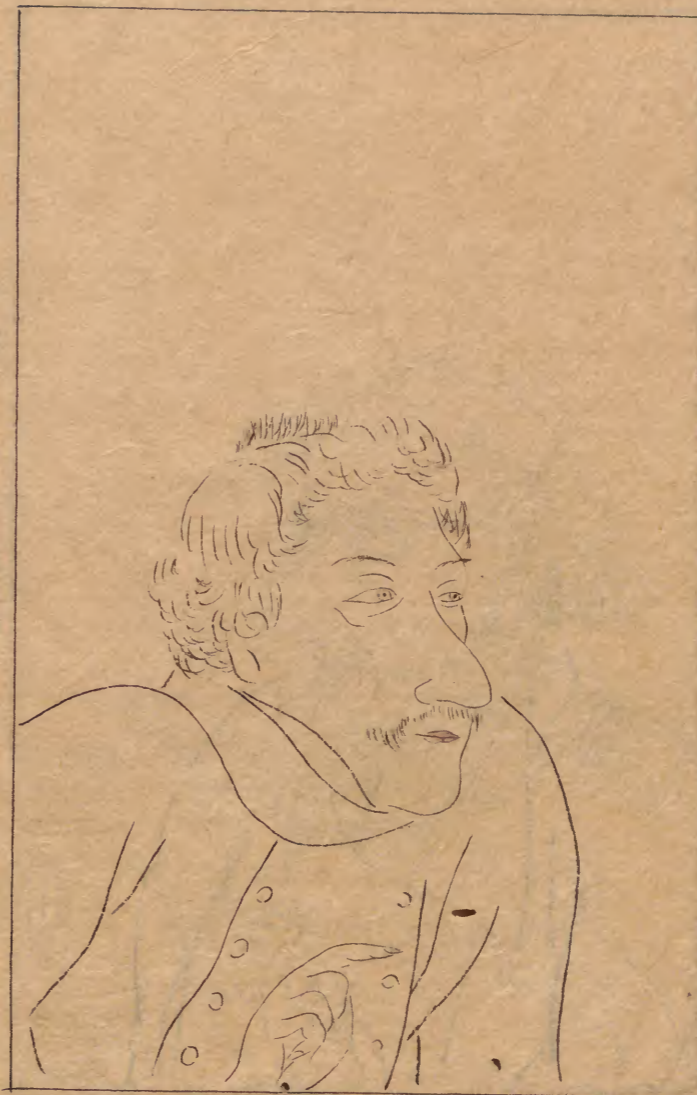
副使アームス肖像



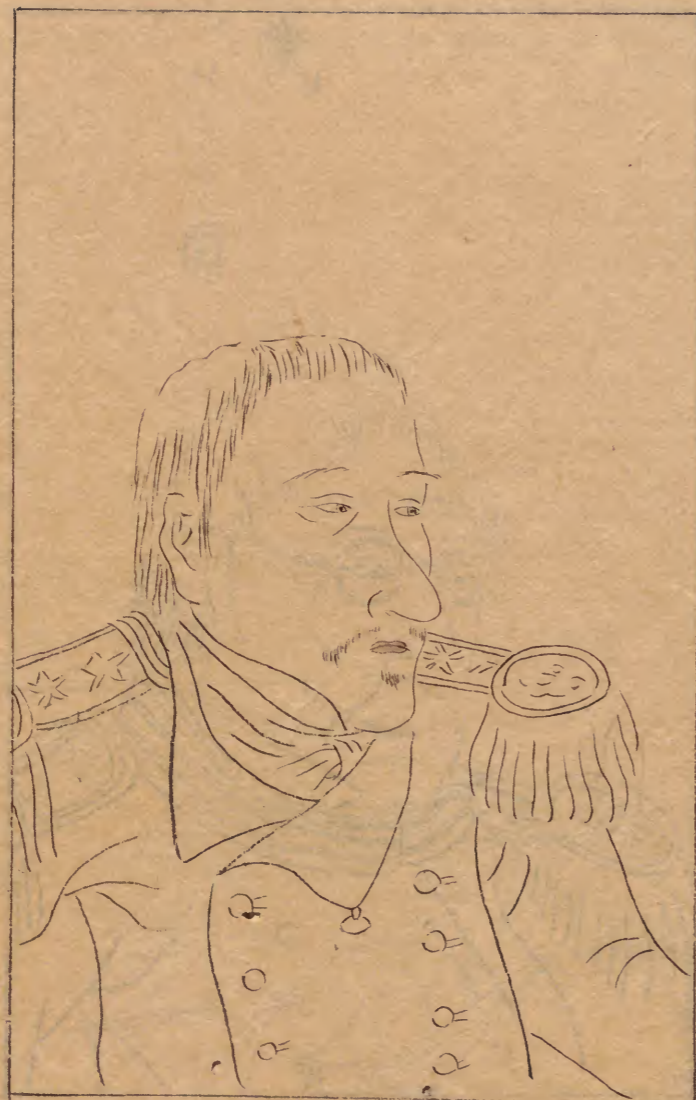
ウリヤマス肖像 畧通和語



ホツトメン 通蘭語



ペルソノ子

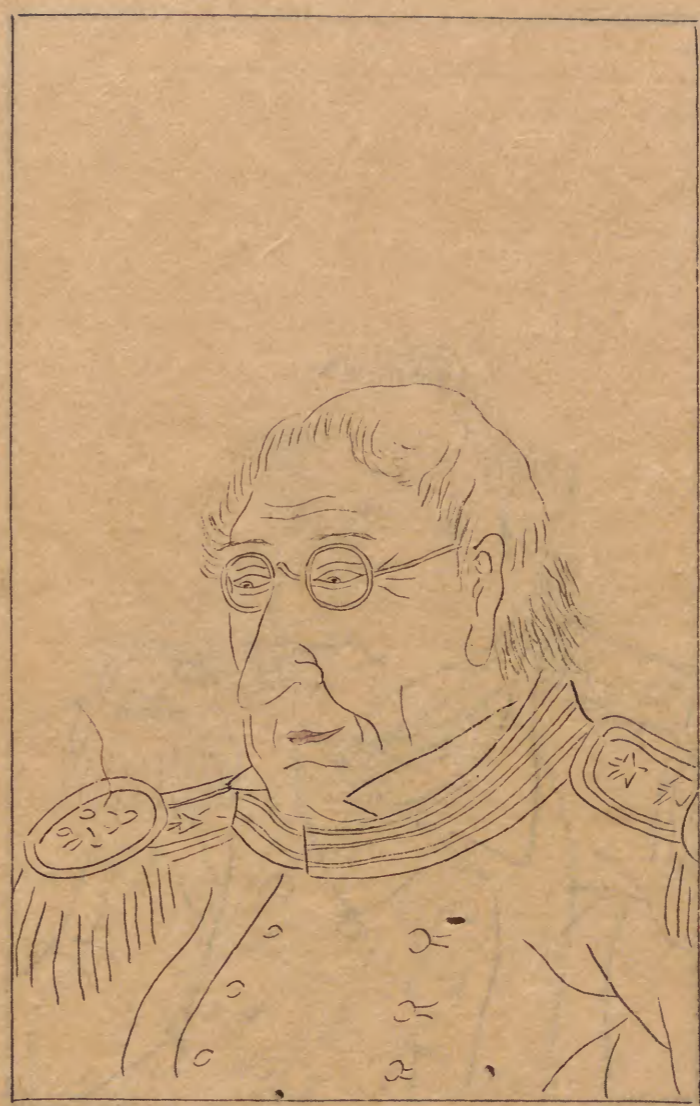


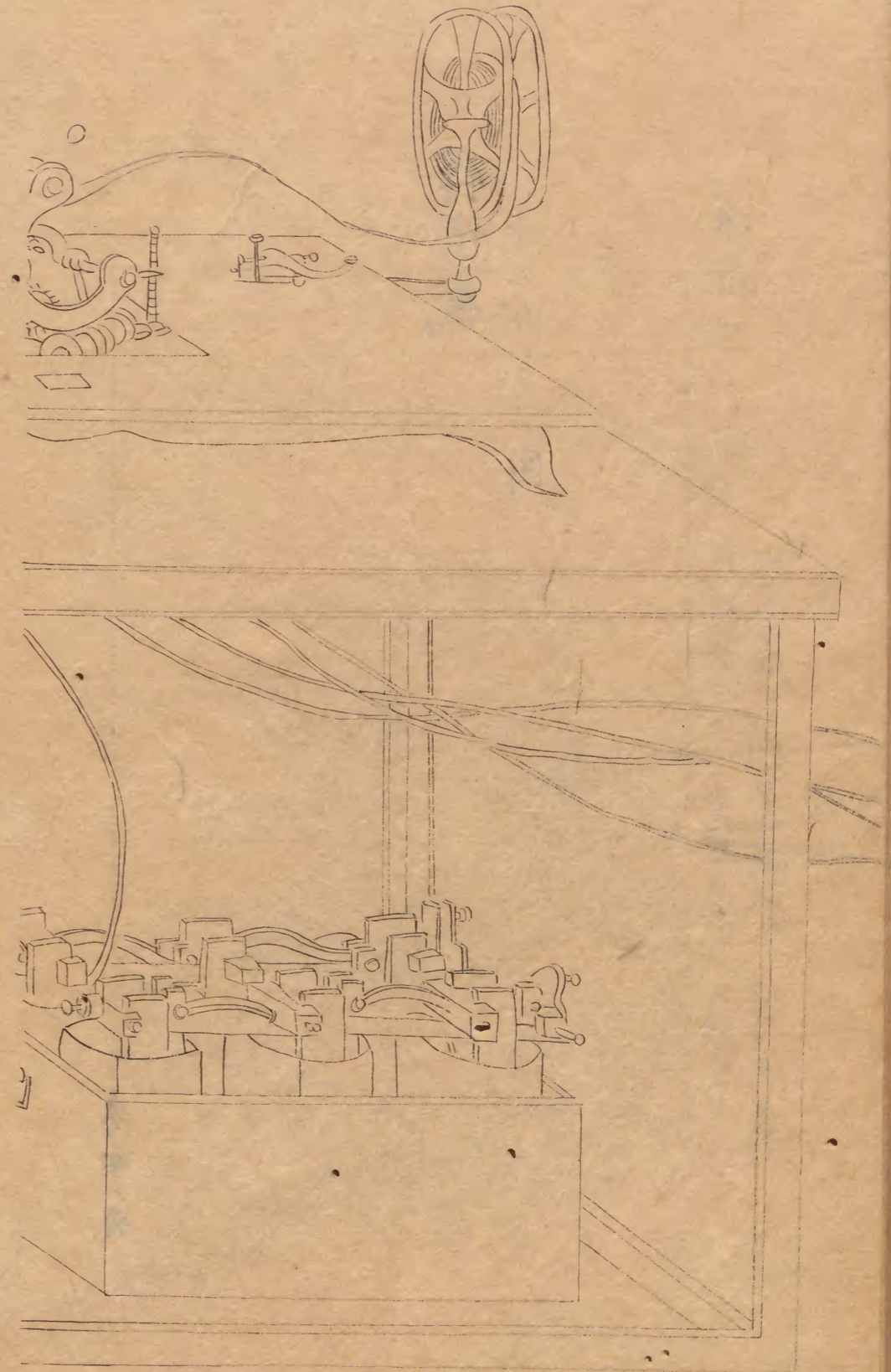
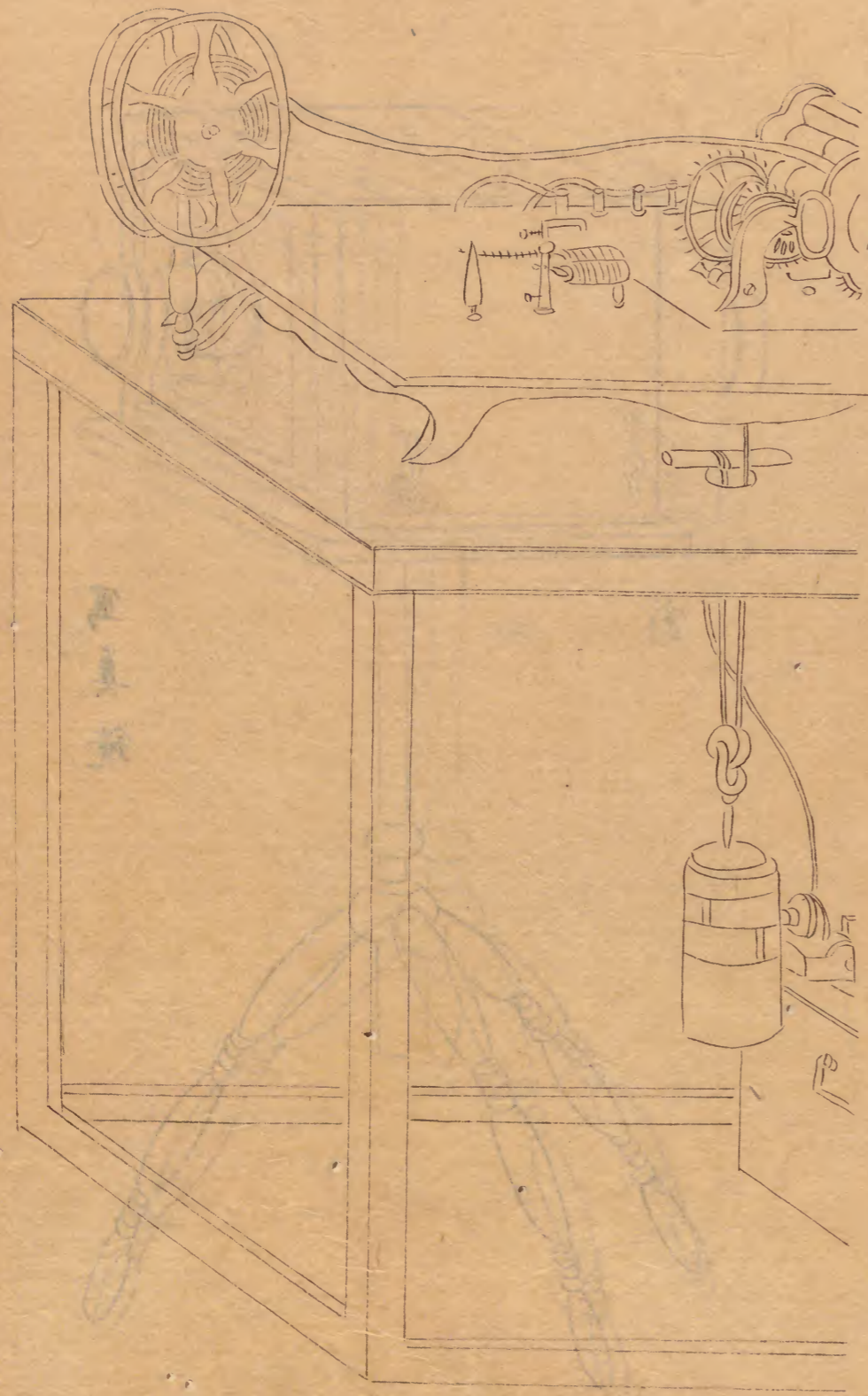
傳信機
テレグラフ図

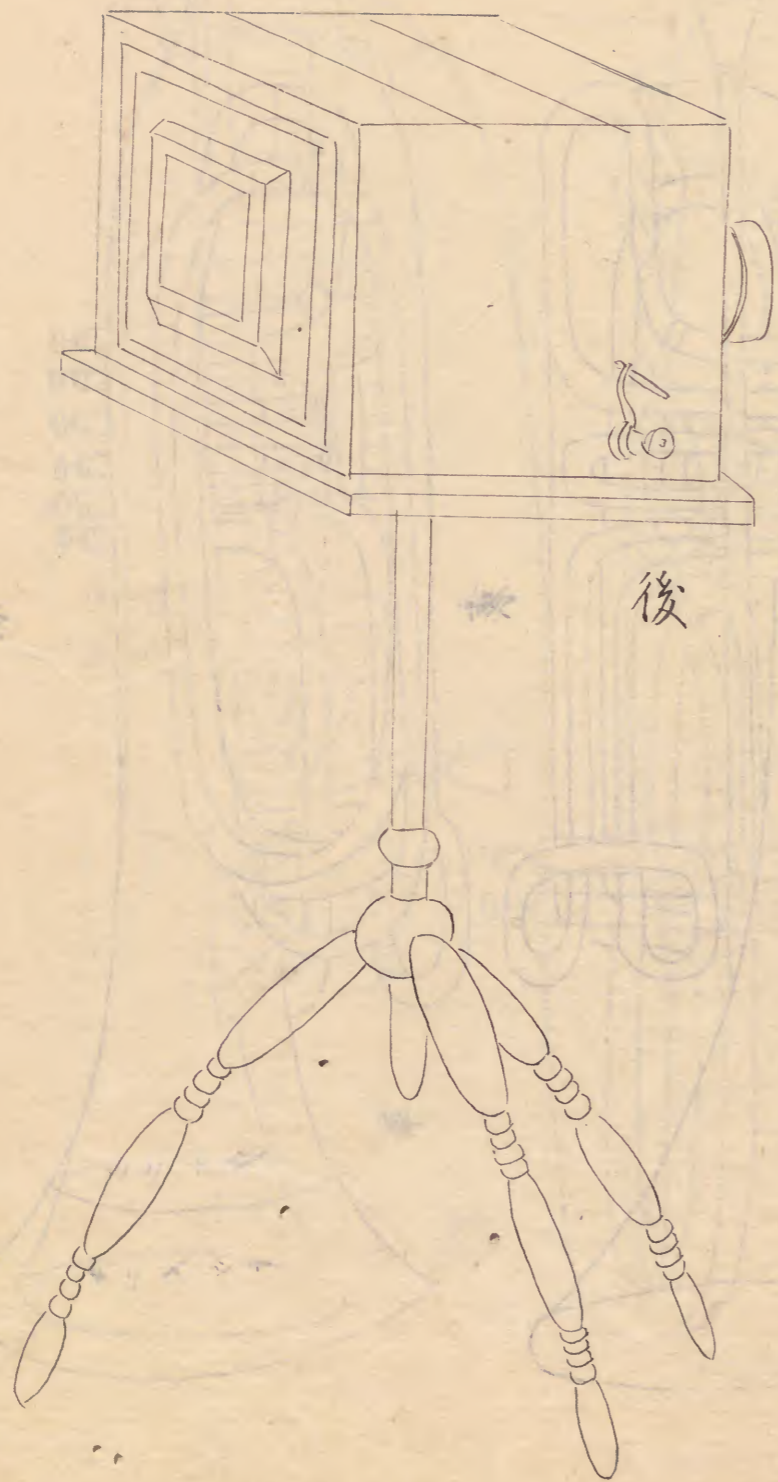


裏面ノ図

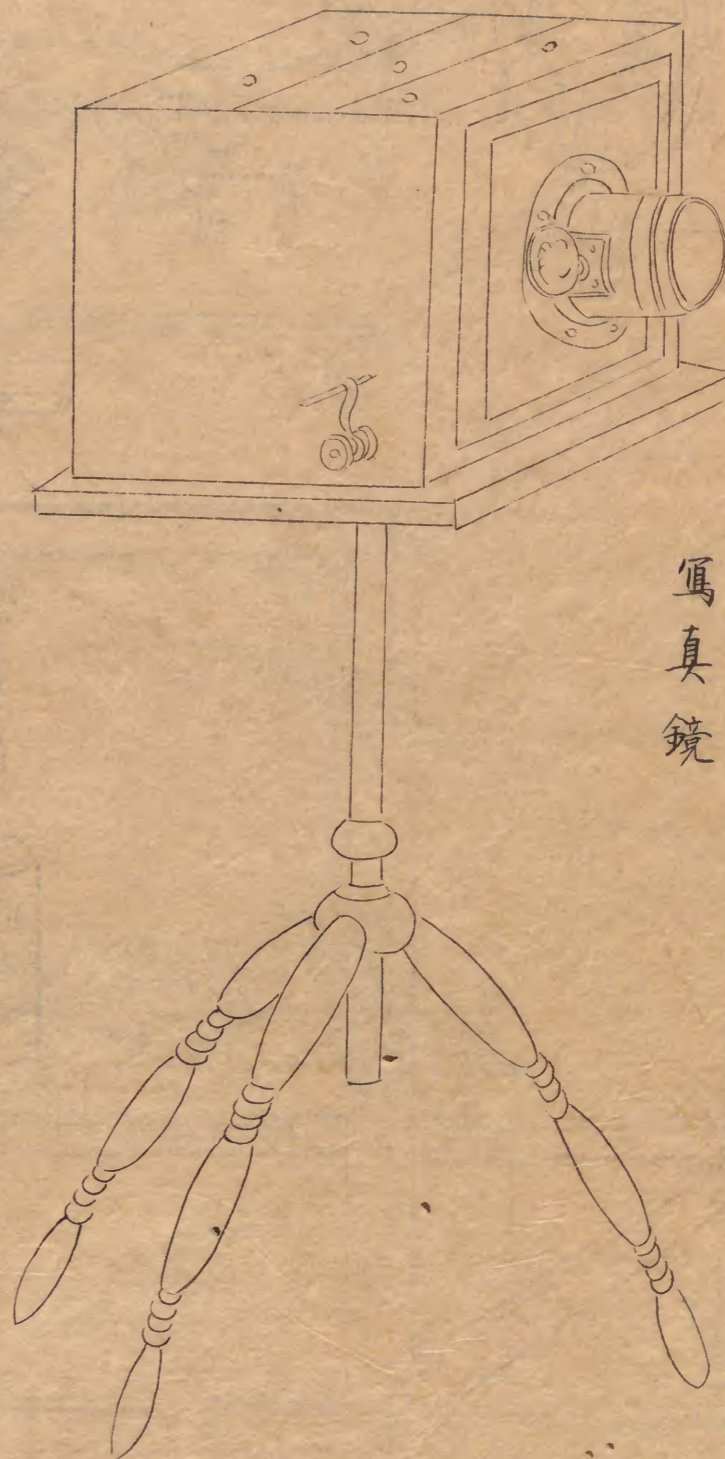
船将アーホット
二月十五日敵軍ノ時ヘルリニ代テ上陸
ス白髪ニシテ容貌日本人ニ類セリ



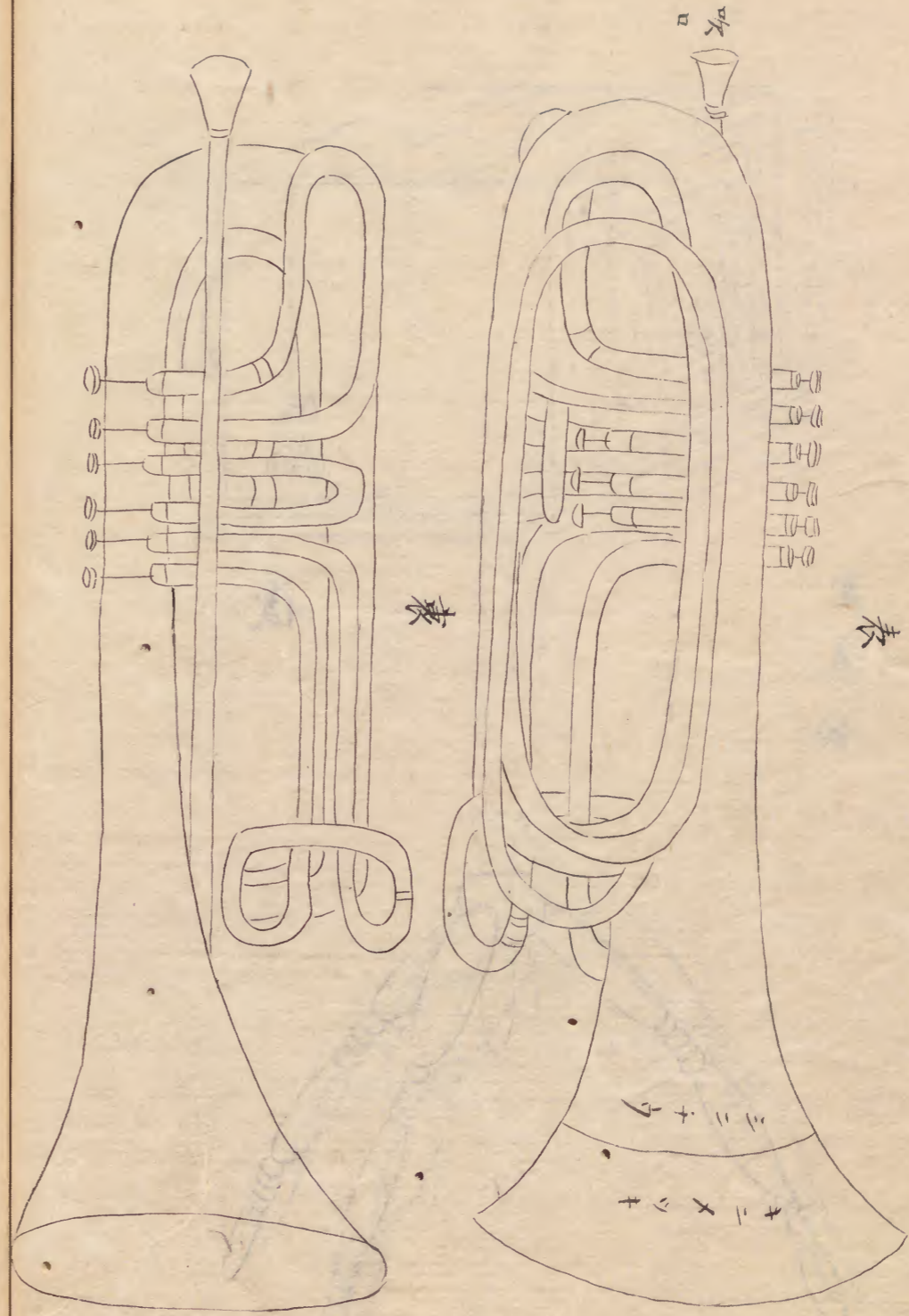
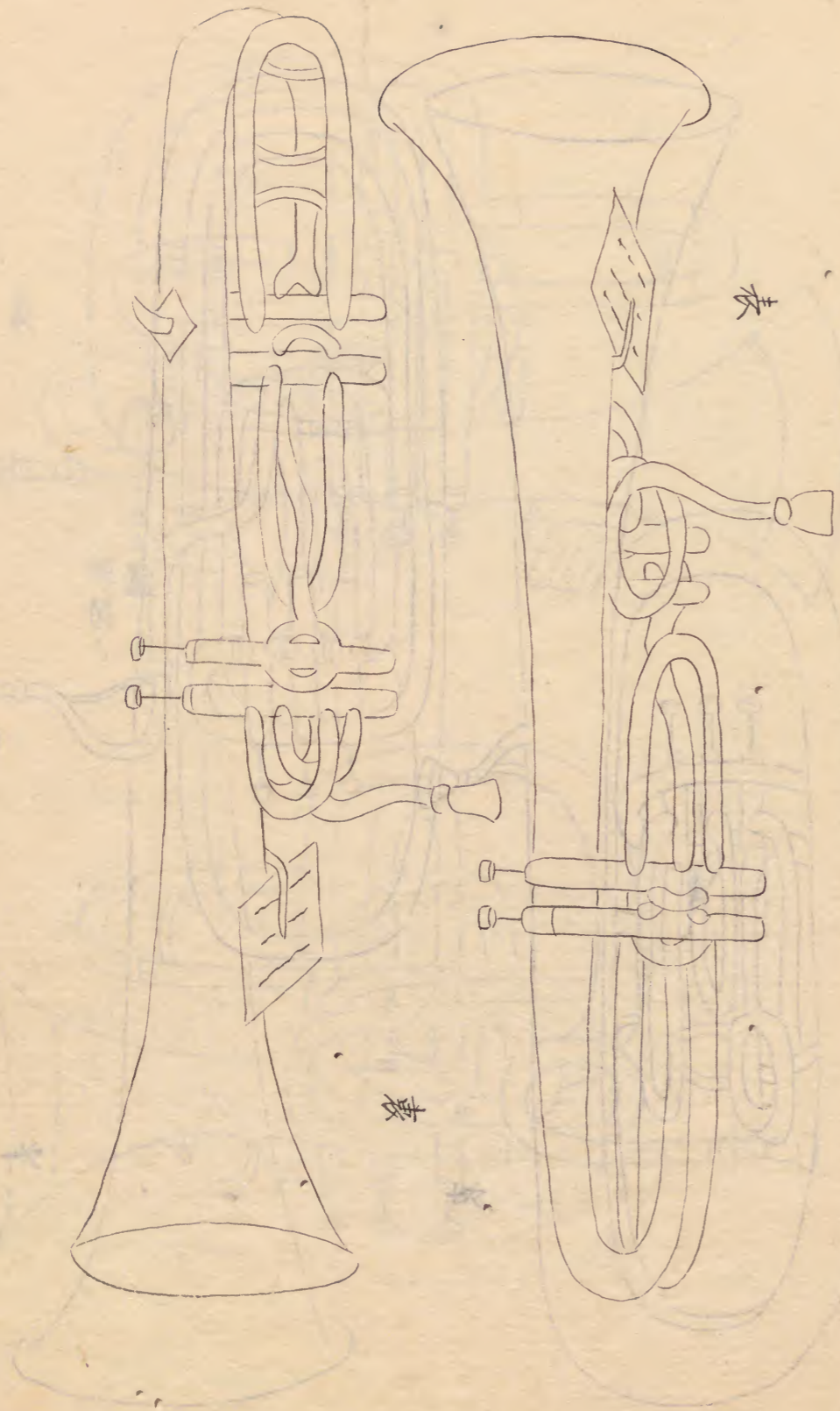


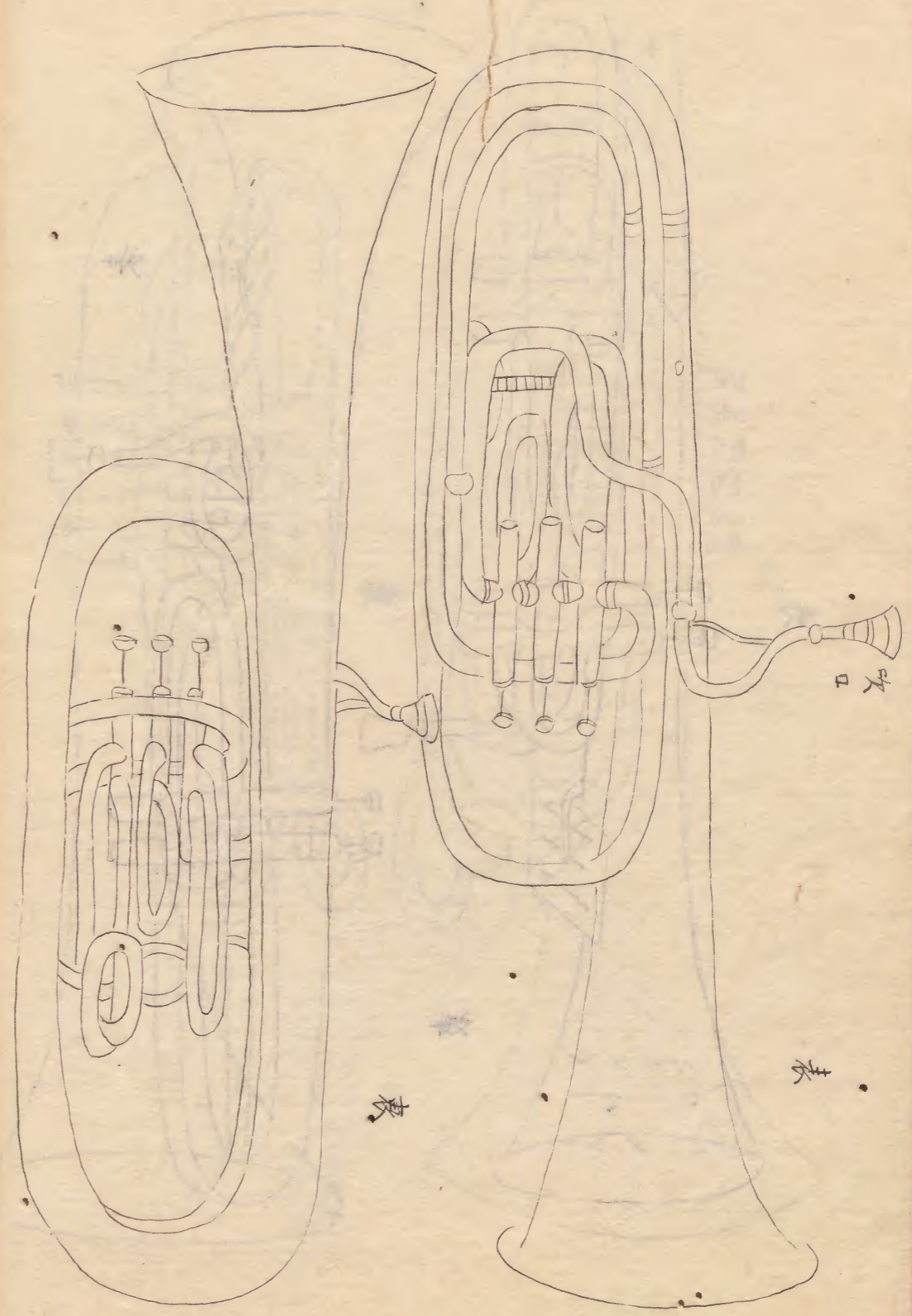
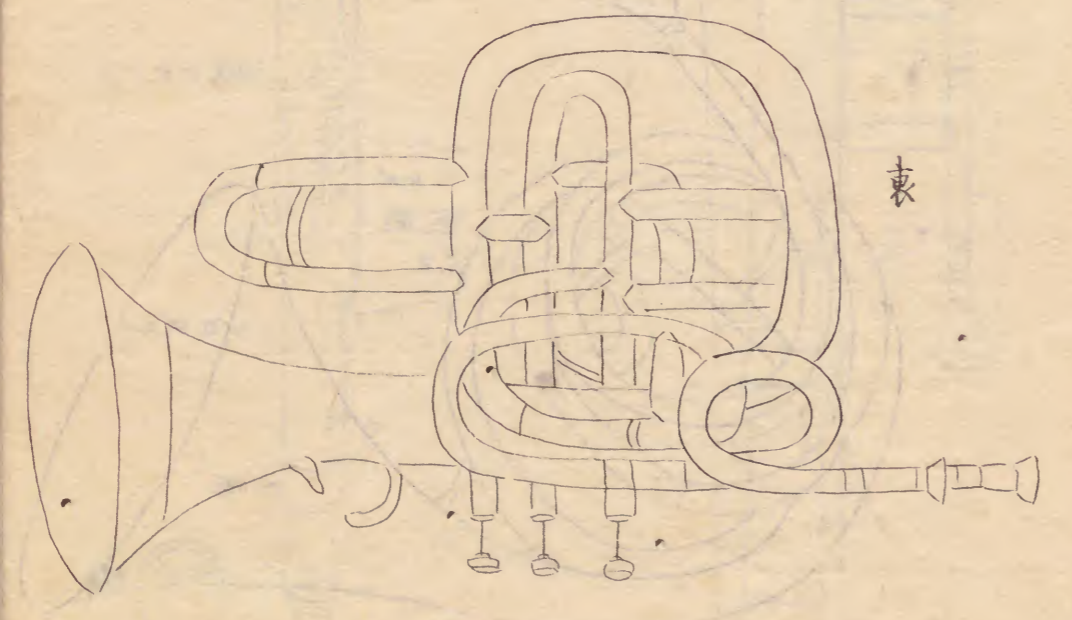
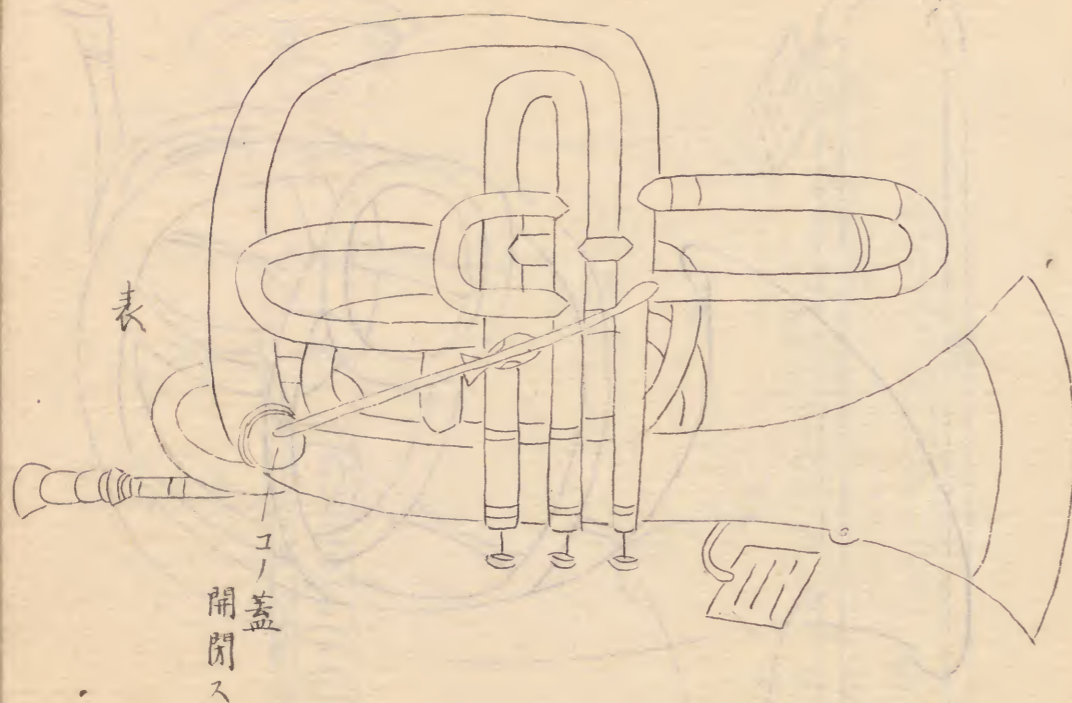


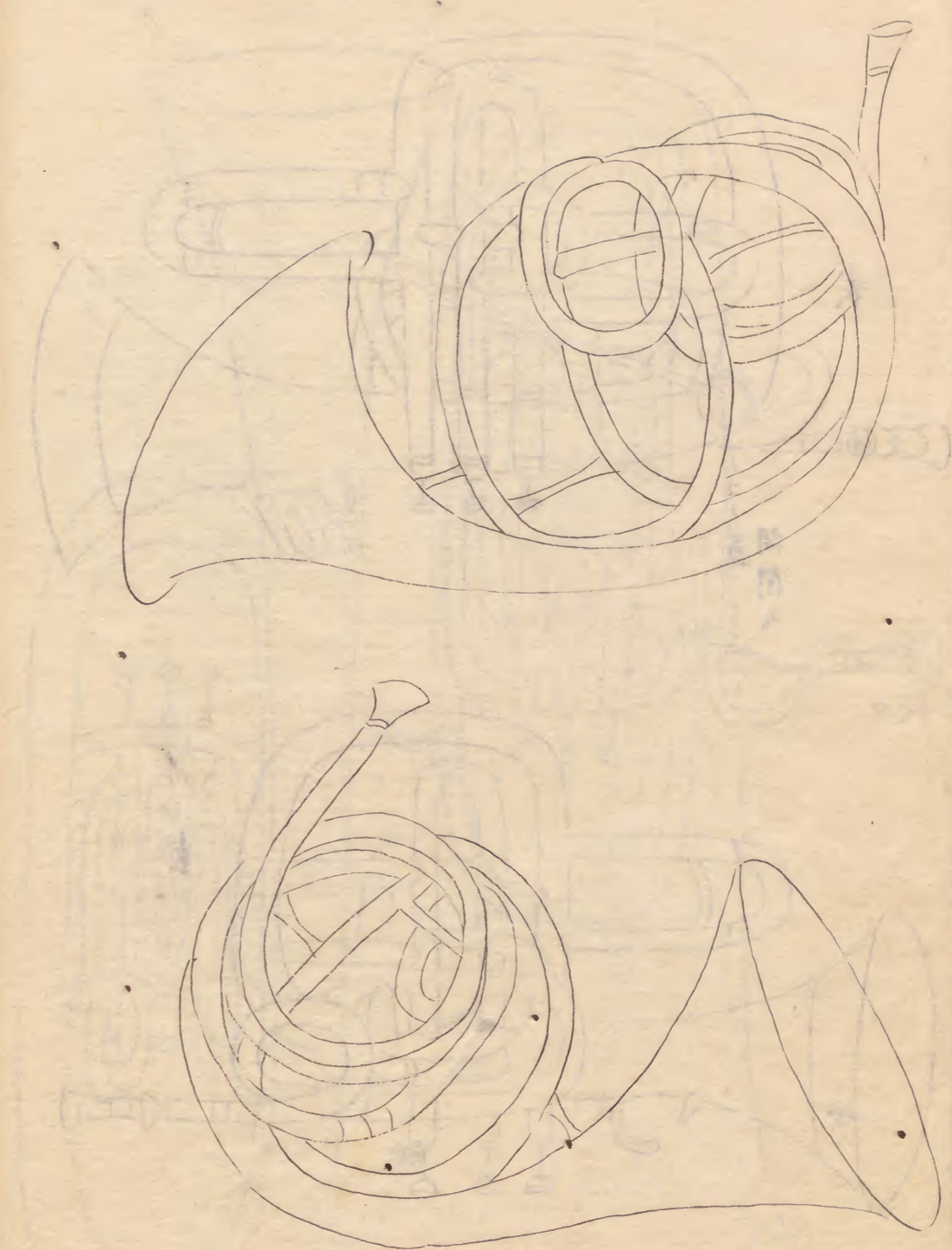
後



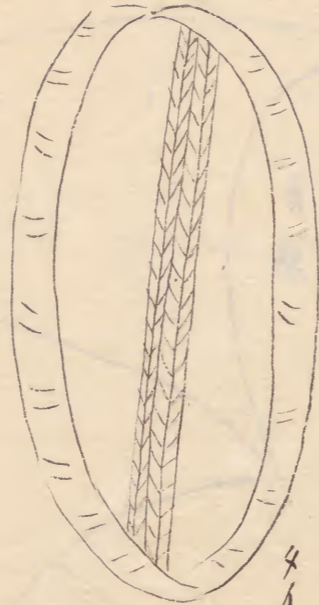
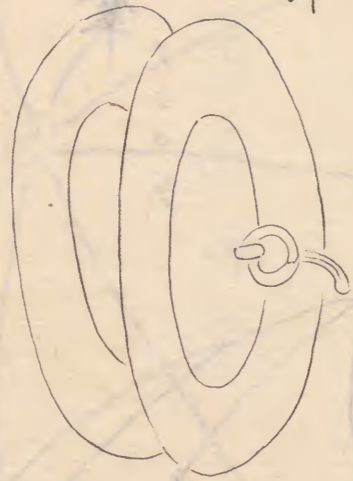
写真鏡







鏡鉢



タイコ
裏
皮ノ上ニ糸ヲハル
故ニヒキ金音ノ
如シ



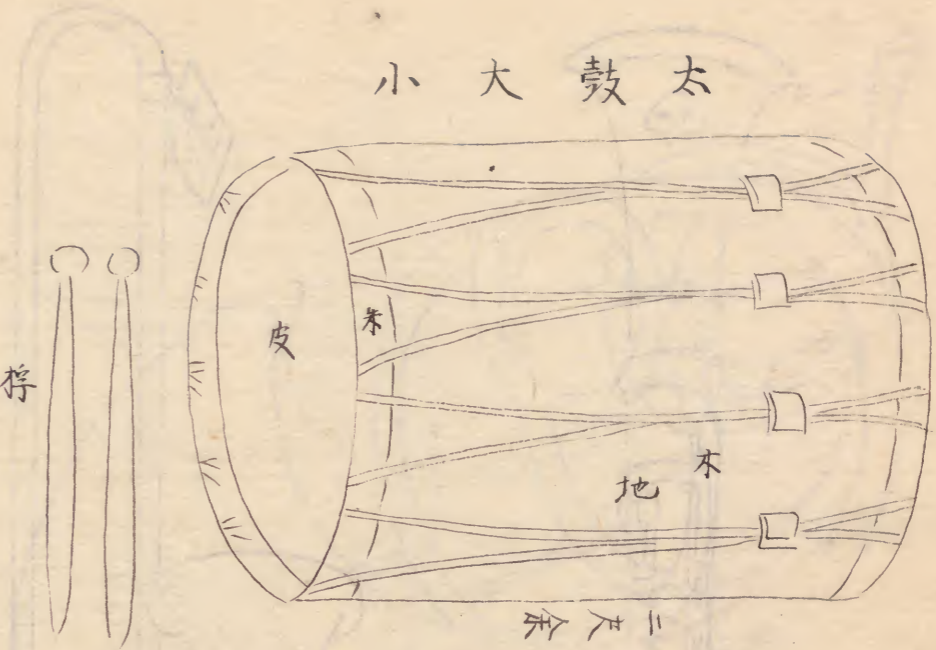
裏アナシ

白ツノ

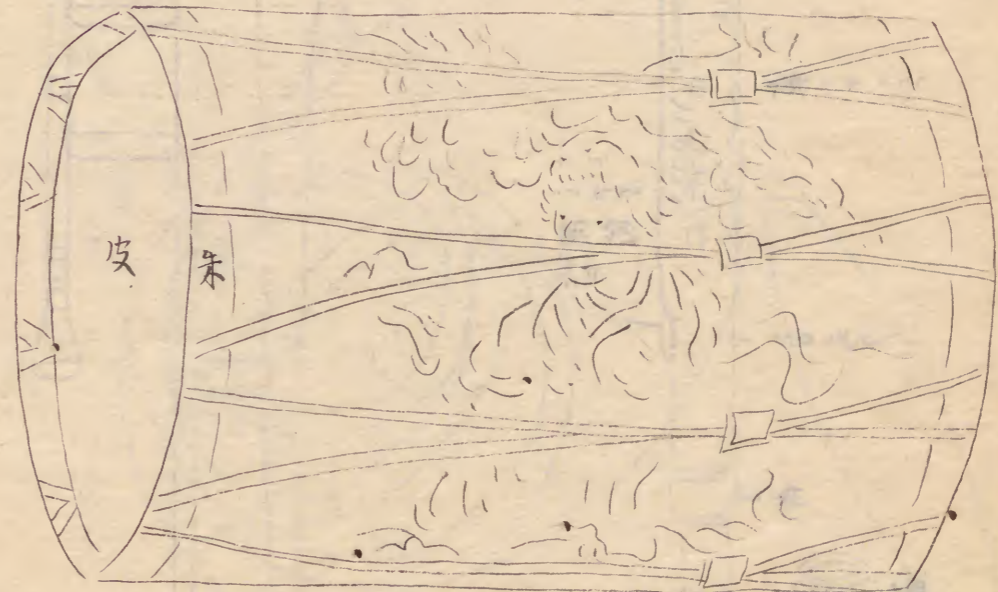
黒ヌリ

太鼓大小

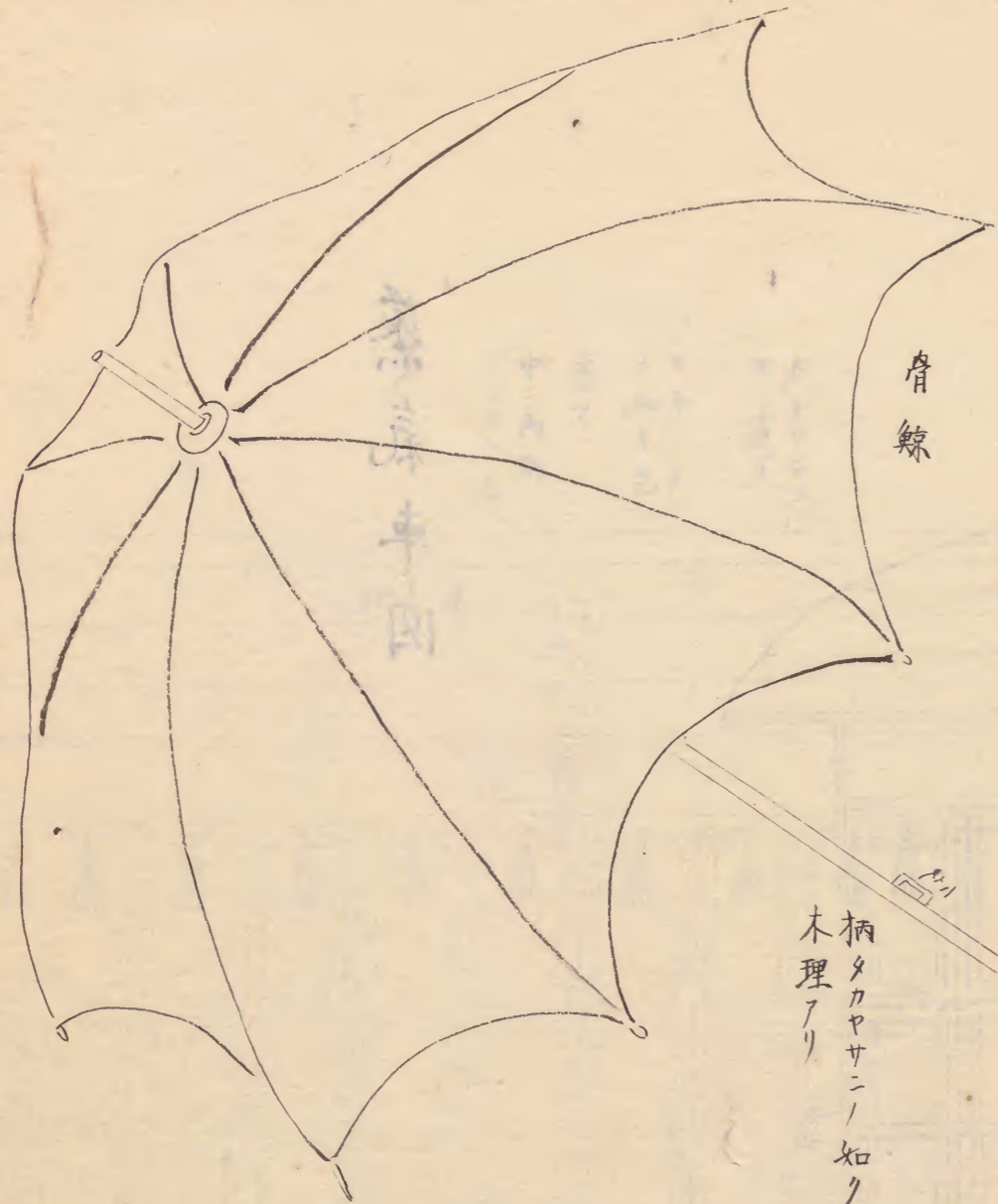
符



ハシ



油繪



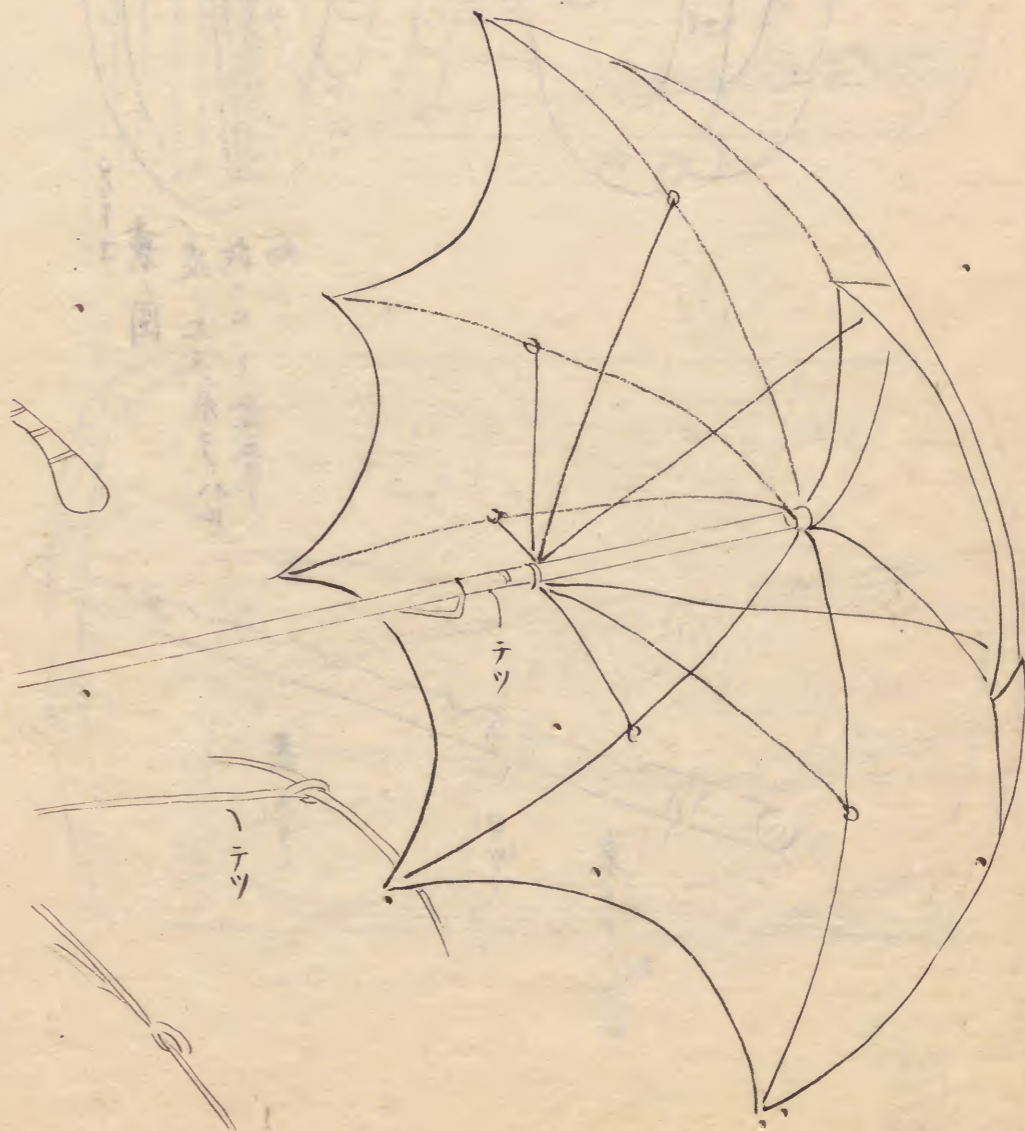
骨線

柄
木理アリ
柄タカヤサニノ如ク

ウスキ結ニテハリ色クロ
クシテスカシミレハ紫色
アリ

傘

アンフラ

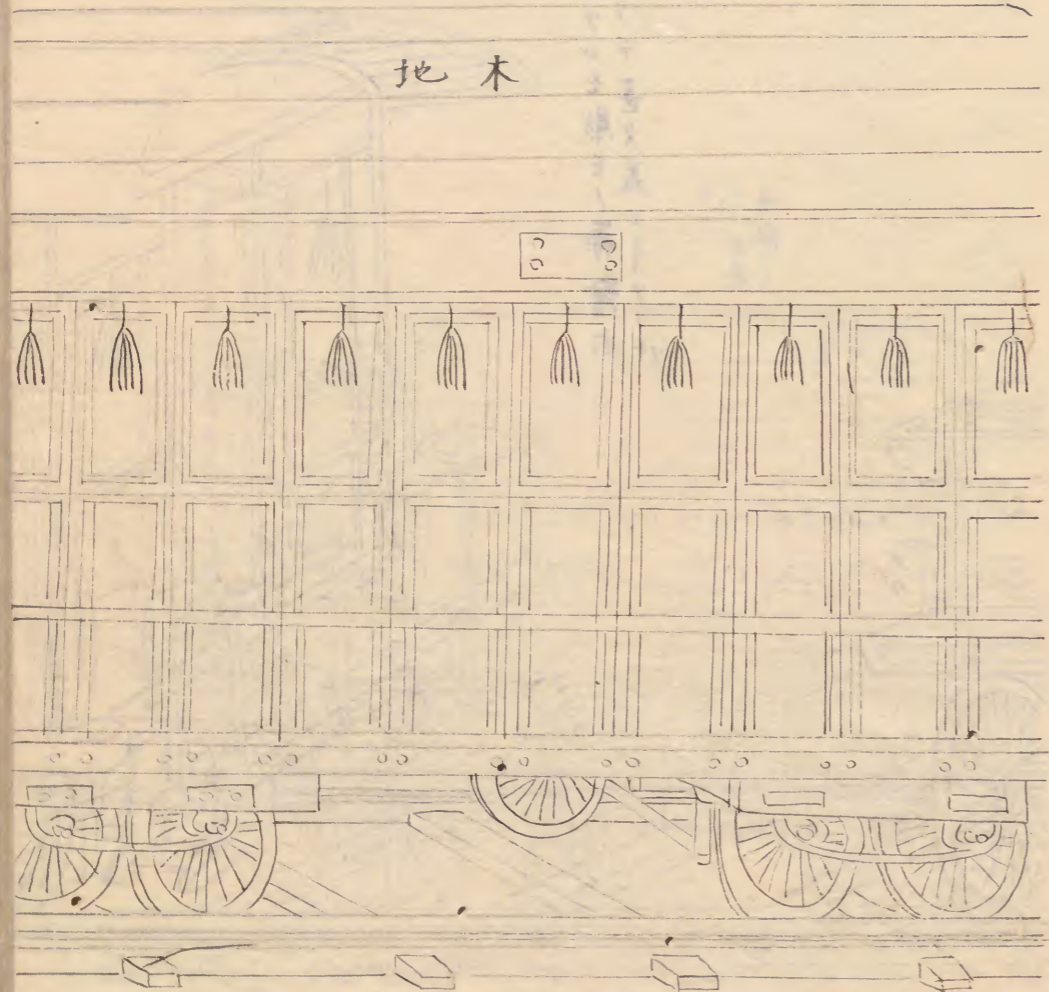


テツ

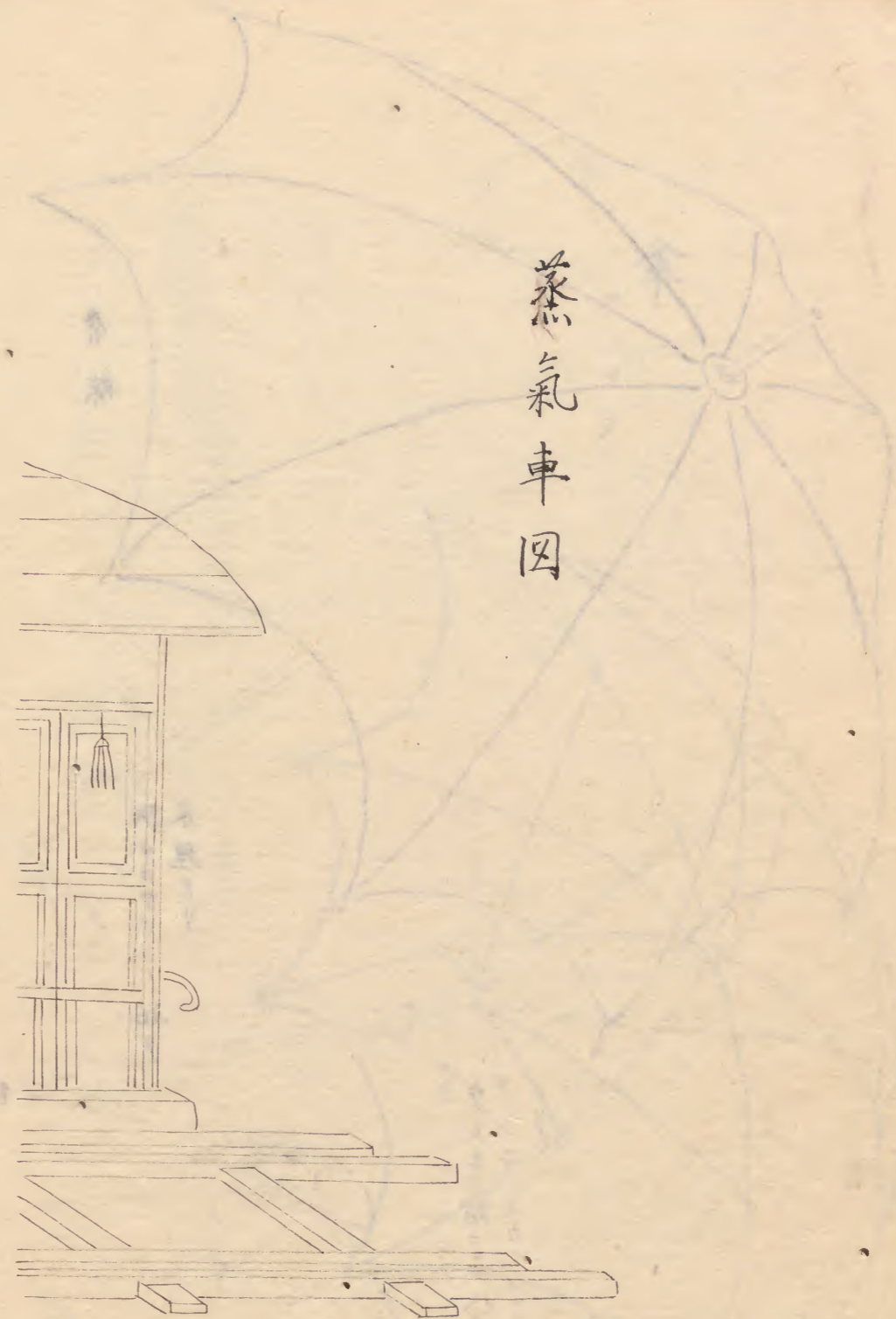
テツ

右キヤマン
十一通り
ヤ子シタン
ノ知キ色
客マ
中ニ兩側
ユシカケアリ

地木

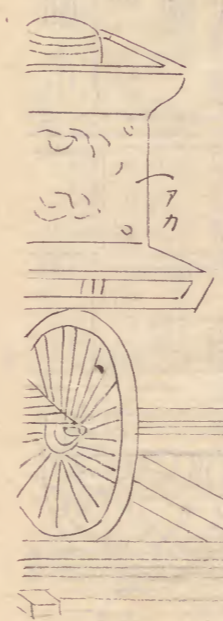


蒸氣車図





車輪
ツレモ
朱
ヌリ

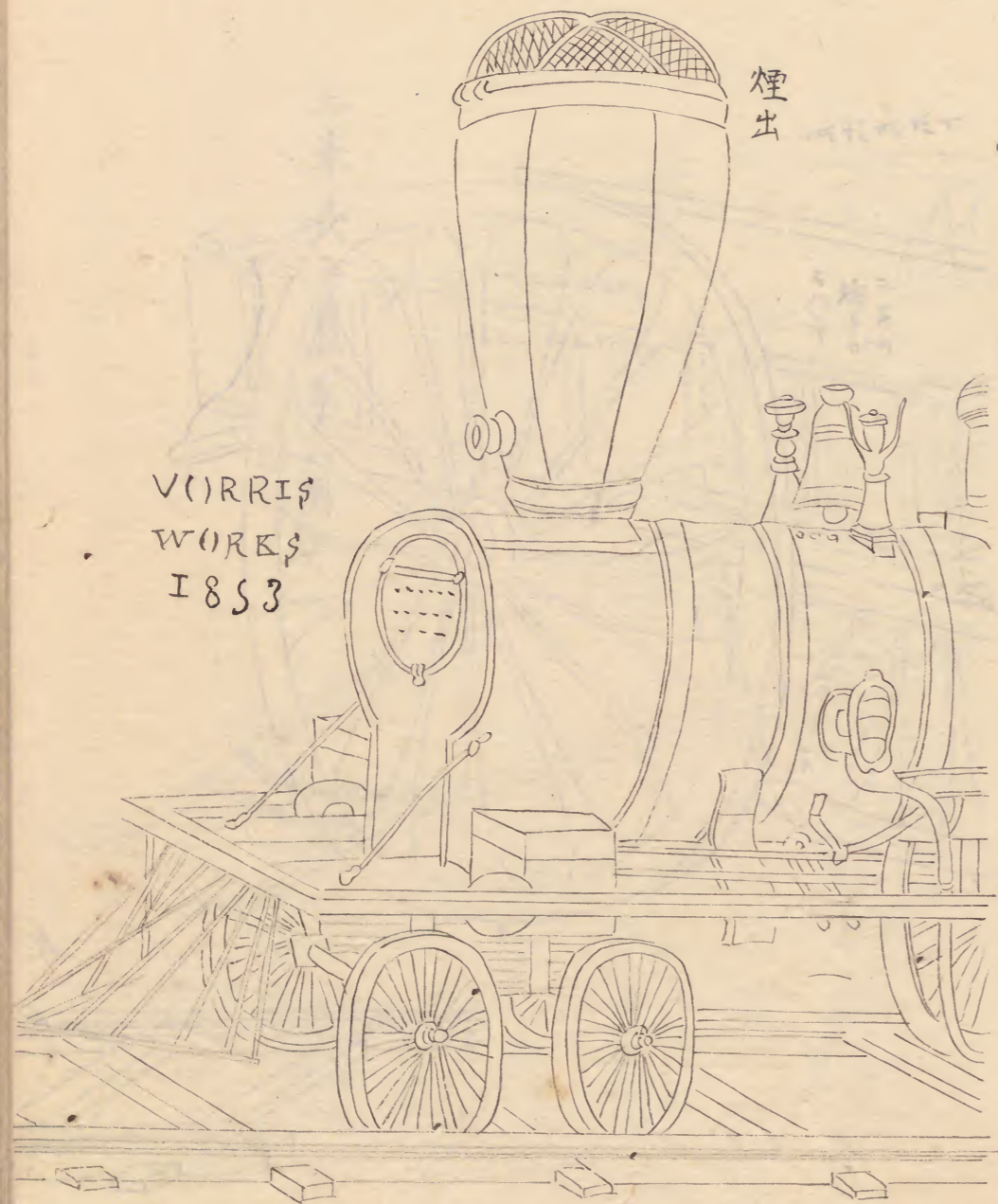


ア
カ

アイツレモ彫モノ蔭繪ホ
アリテ甚タ羨レイナリト

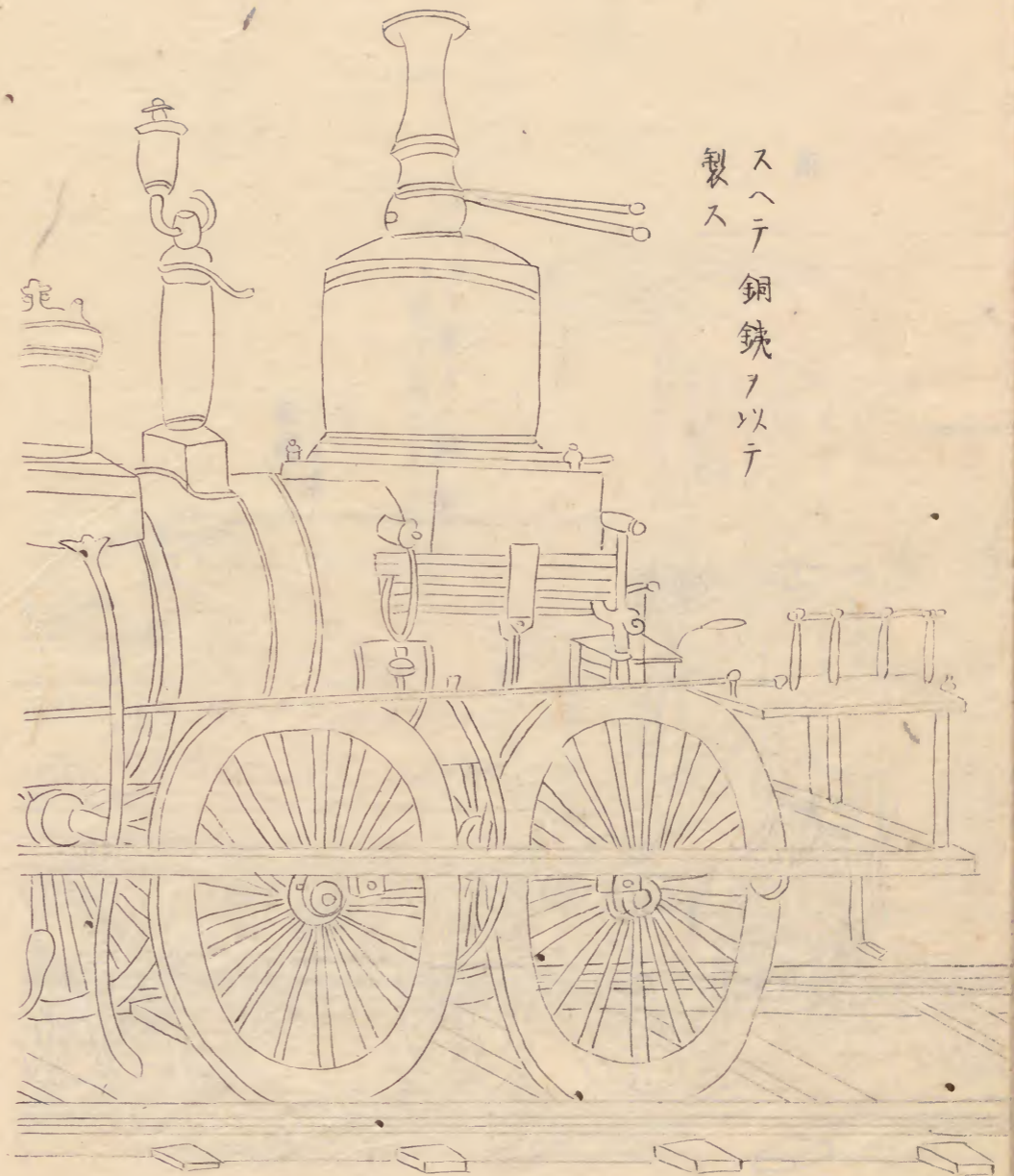
扉





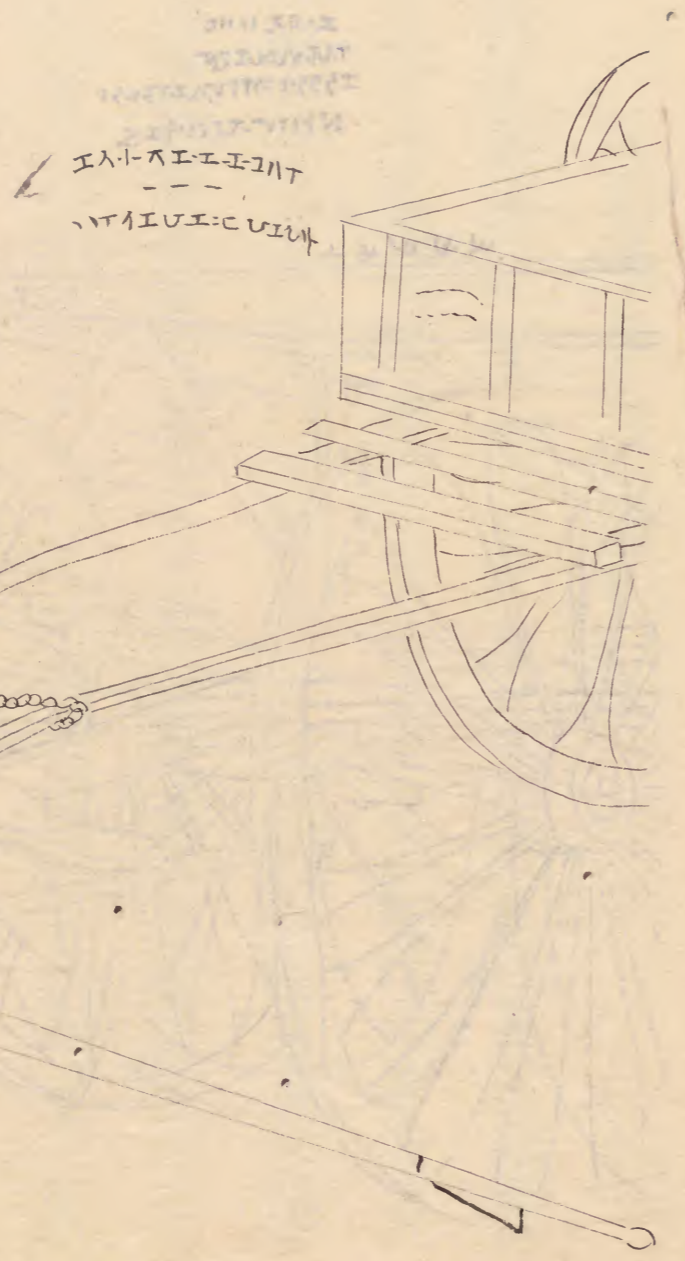
VERRIS
WORKS
1853

煙出

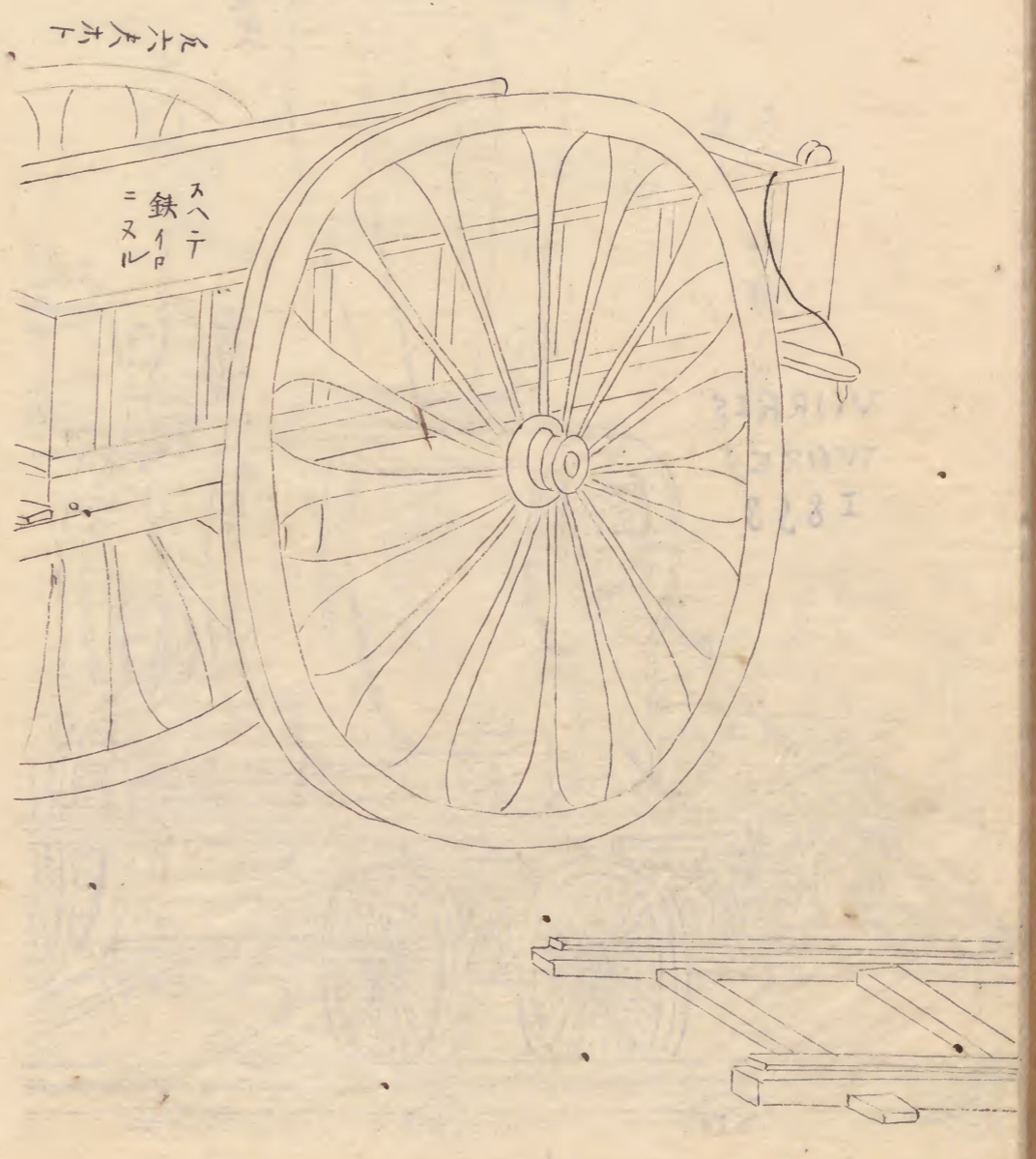


スヘテ銅鏡ヲ以テ
製ス

二車共ニ農事ニ用フ

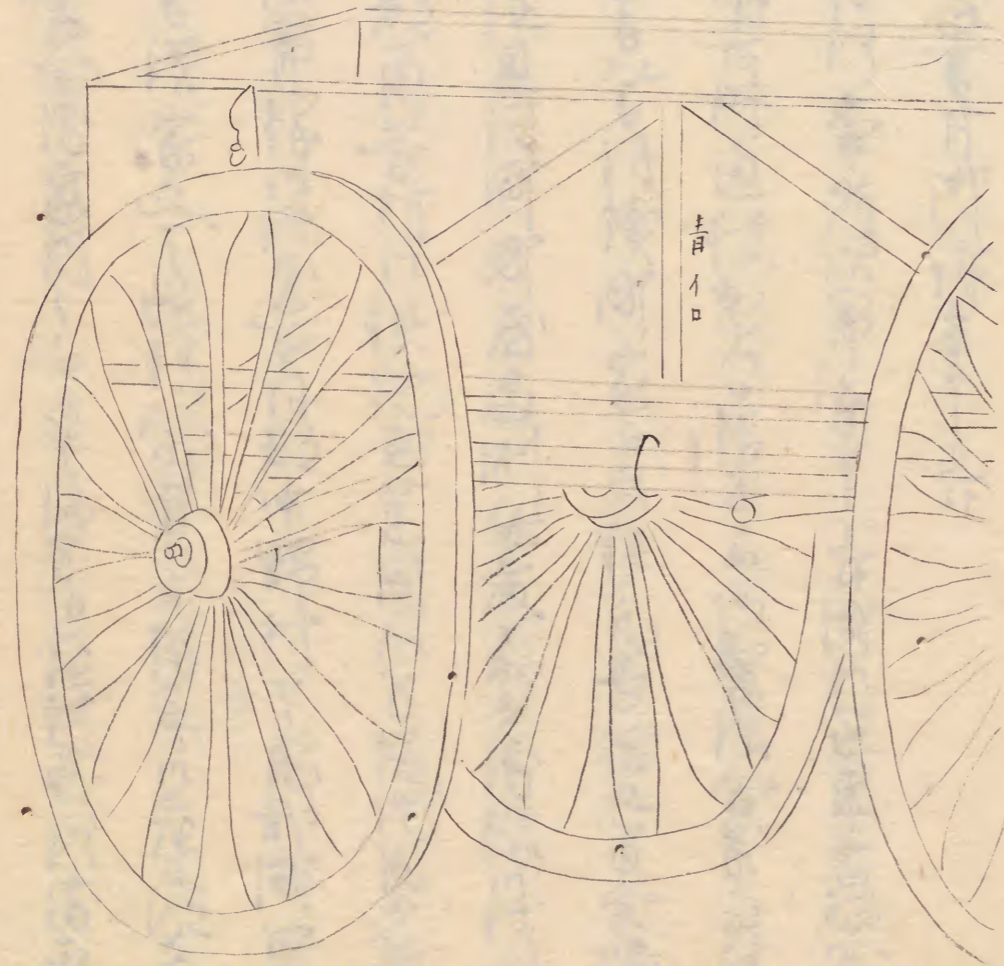


イノトキエニ
ハナシユエニ



足六尺ホト

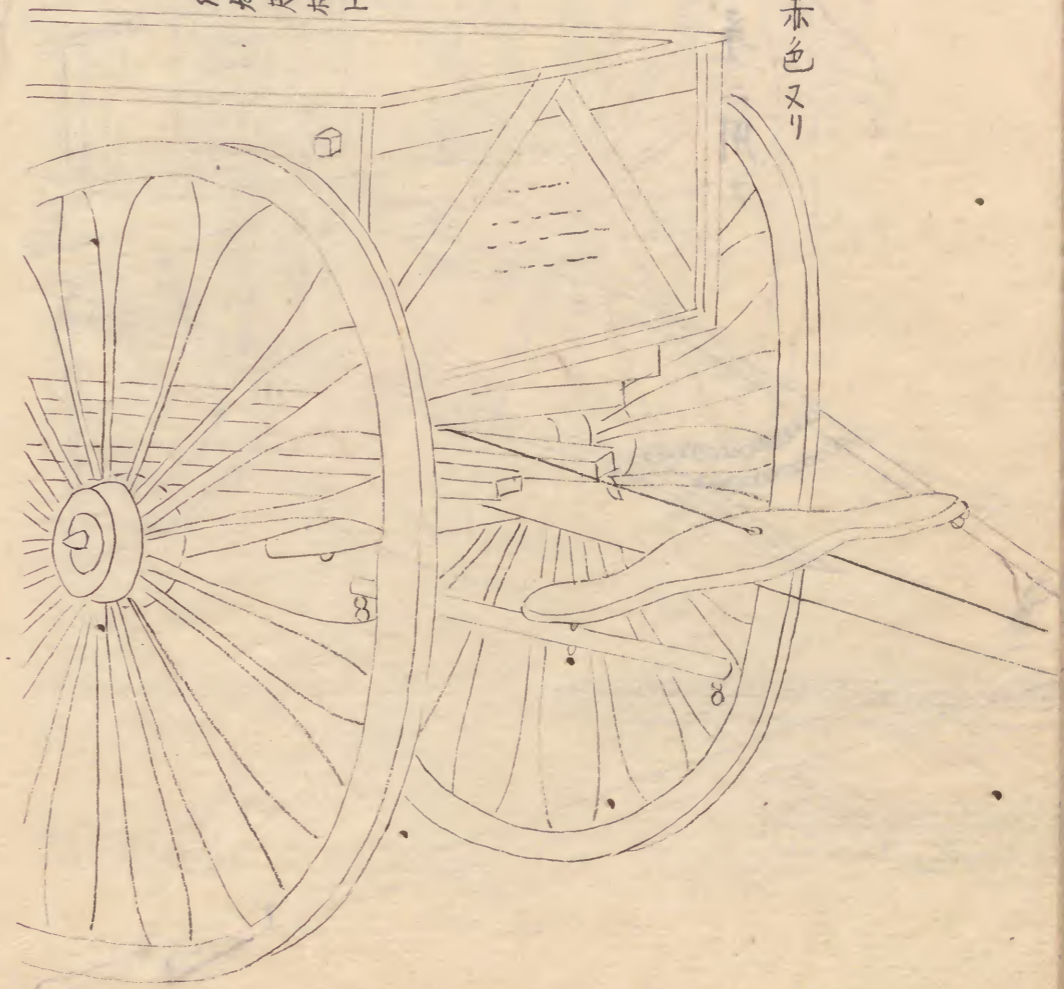
スハ
鉄
ニ
ス
ル



上目
イロ

エ・エ・リ・ヒ
 ヲ・ハ・ヒ・エ・ク
 イ・ク・ク・イ・ク・ク・ク・ク・ク・ク・ク
 ナ・ヒ・ヒ・ヒ・ヒ・ヒ・ヒ・ヒ・ヒ

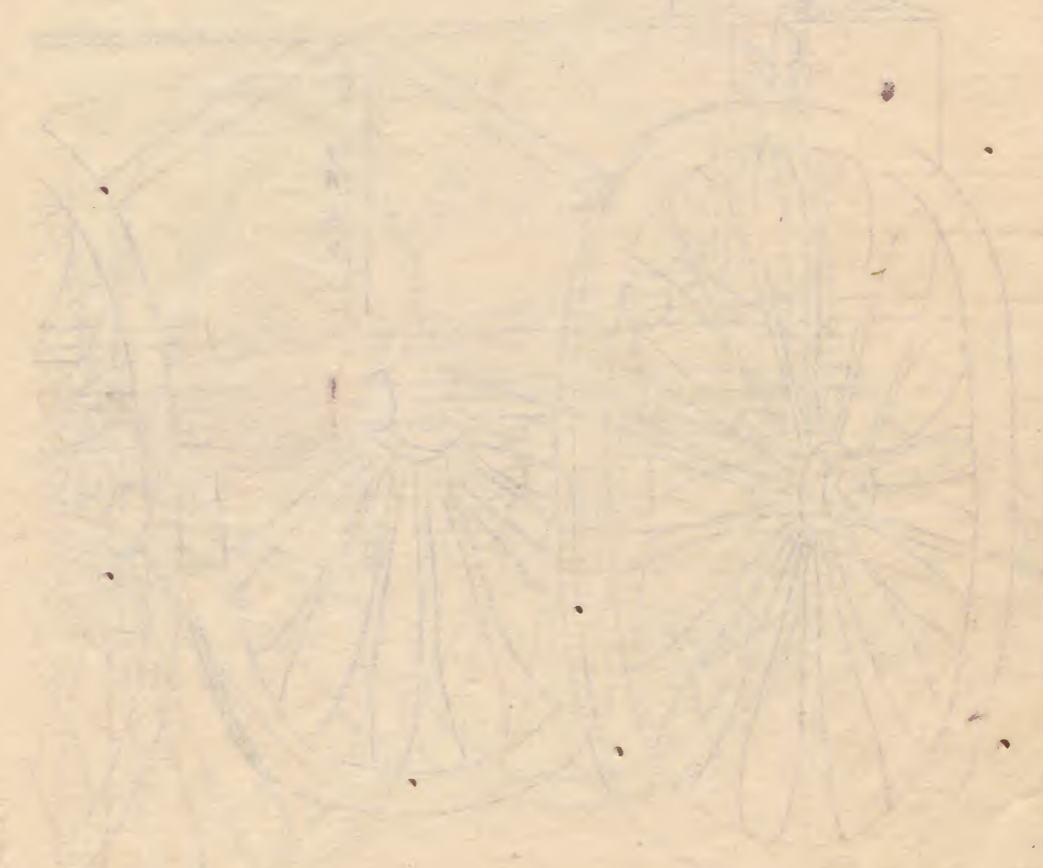
火水尺ホト



車スヘテ赤色ヌリ

臣等謹書并御海軍一上

一 福井後備河月行奉為沈痛等一上 臣等日本軍艦(艦)
地圖今上日明可也 臣等奉為沈痛等一上 臣等日本軍艦(艦)
後大おしし大言言月續可家口大移元長指元百前續
均言日後備失は且日可也 臣等奉為沈痛等一上 臣等日本軍艦(艦)
可也 臣等奉為沈痛等一上 臣等日本軍艦(艦)
也 臣等奉為沈痛等一上 臣等日本軍艦(艦)
後也 臣等奉為沈痛等一上 臣等日本軍艦(艦)
也 臣等奉為沈痛等一上 臣等日本軍艦(艦)



Handwritten text in a cursive style, likely a letter or document. The text is written vertically from right to left. The characters are somewhat faded and difficult to read precisely, but appear to be a continuous block of text.

用青印樣

Handwritten text, possibly a signature or a specific instruction.

Handwritten text in a cursive style, continuing from the previous page. The text is written vertically from right to left. The characters are somewhat faded and difficult to read precisely, but appear to be a continuous block of text.

Handwritten text in cursive script, likely a list or index, covering the right page of the manuscript.

身之傳說

Handwritten text in cursive script, likely a list or index, covering the left page of the manuscript.

船先の船長は、船中を巡り、船員に話をし、船の状況を聞き、船の安全を祈り、船の目的地に到着することを願った。船は、船長の指示に従って、船の目的地に到着した。船の目的地は、船長の指示に従って、船の目的地に到着した。

船は、船長の指示に従って、船の目的地に到着した。船の目的地は、船長の指示に従って、船の目的地に到着した。船の目的地は、船長の指示に従って、船の目的地に到着した。

船は、船長の指示に従って、船の目的地に到着した。船の目的地は、船長の指示に従って、船の目的地に到着した。船の目的地は、船長の指示に従って、船の目的地に到着した。

五月十八日

清司

船は、船長の指示に従って、船の目的地に到着した。船の目的地は、船長の指示に従って、船の目的地に到着した。船の目的地は、船長の指示に従って、船の目的地に到着した。

[Faint, mostly illegible handwritten text in a cursive script, likely a letter or document.]

五月十八日

平野の殿に

[Handwritten text in a cursive script, continuing the letter or document.]

右の圖并に略口目并岩隙の程は傳者古記を管二番一の二圖首一と也

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or document, covering the right page of the spread.

五月十八日

卯
御前
代官
之
板

松平肥前守
名代
中川傳理大夫

長崎藩中へ
貴用事
御前
代官
之
板
右
於
沖
田
書
院
極
類
印
中
判
症
方
和
也
御
前
代
官
之
板

和月廿一日... 伊予... 宗對馬

宗對馬

五月廿二日

宗對馬

信二十枚

宗對馬

信二十枚

宗對馬

伊予

和月廿一日

宗對馬

宗對馬

朝拜信使未聘の言起り年々子年を信也如
今年方以有彼由の起聘の言お獨る言口
下付言院又言一也

右白書院極類おのて中列注初

九二六九

借軍

一南朝の信を以て以て則同後朝因名於茶野
信地也一也中も未身也也右獨の言口
口候地方の言口常左衛門権の言口
身事口言口の言口公儀口用口
口言口言口言口言口言口言口言口
仰も言口言口言口言口言口言口
破家好く桐葉ふかよし西島く押通國藏
羅義座前の保言言奇英の信候を言

一、及丁亥年... 國... 亥... 十... 亥... 亥...

托張

長... 亥... 亥...

長... 亥... 亥...

長... 亥... 亥...

長... 亥... 亥...

長... 亥... 亥...

長... 亥... 亥...

長... 亥... 亥...

長... 亥... 亥...

長... 亥... 亥...

長... 亥... 亥...

長... 亥... 亥...

右... 亥... 亥...

長... 亥... 亥...

長... 亥... 亥...

長... 亥... 亥...

長... 亥... 亥...

清江先生の遺稿を採りて正家祖の教義を論ずる書也
清江先生の遺稿を採りて正家祖の教義を論ずる書也
清江先生の遺稿を採りて正家祖の教義を論ずる書也
清江先生の遺稿を採りて正家祖の教義を論ずる書也
清江先生の遺稿を採りて正家祖の教義を論ずる書也
清江先生の遺稿を採りて正家祖の教義を論ずる書也
清江先生の遺稿を採りて正家祖の教義を論ずる書也
清江先生の遺稿を採りて正家祖の教義を論ずる書也
清江先生の遺稿を採りて正家祖の教義を論ずる書也
清江先生の遺稿を採りて正家祖の教義を論ずる書也

九二五

高平月十有九日南無阿彌陀佛
後利和長河毅乃王及南の書端
通河和解の字
高平月十有九日南無阿彌陀佛
後利和長河毅乃王及南の書端
通河和解の字
高平月十有九日南無阿彌陀佛
後利和長河毅乃王及南の書端
通河和解の字
高平月十有九日南無阿彌陀佛
後利和長河毅乃王及南の書端
通河和解の字
高平月十有九日南無阿彌陀佛
後利和長河毅乃王及南の書端
通河和解の字
高平月十有九日南無阿彌陀佛
後利和長河毅乃王及南の書端
通河和解の字

Handwritten text on the right page, including a date in red ink: 永享七年甲寅七月. The text is mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side.

永享七年甲寅七月

別帳見覚書

河内河内國之事

- 一 永享七年四月十二日和紫の公王子プリンセスベンテレッキン事
- 一 センウエイマルエイセナグ^名の清彦の女アマリヤ^名と婚同古懸り右
- 一 プリンセスベンテレッキン^名の和紫の女オホケリ^名と婚同古懸り右
- 一 女の父オクセンウエイマルエイセナグ^名の清彦ヘルンヘルト^名事ハ意旨書
- 一 和紫の母オホケリ^名和紫の父軍将也也初者三有也
- 一 和紫の母の妹オクセンウエイマルエイセナグ^名の清彦の母ハ嫁ニ純年

一 昔年(1870)の同月(12)女子を産む

一 昨(1871)年(12)月(15)日(12)の同月(12)女子を産む

一 他(1871)年(12)月(15)日(12)の同月(12)女子を産む

一 去(1871)年(12)月(15)日(12)の同月(12)女子を産む

一 海(1871)年(12)月(15)日(12)の同月(12)女子を産む

一 向(1871)年(12)月(15)日(12)の同月(12)女子を産む

一 未(1871)年(12)月(15)日(12)の同月(12)女子を産む

一 聖(1871)年(12)月(15)日(12)の同月(12)女子を産む

一 又(1871)年(12)月(15)日(12)の同月(12)女子を産む

一 評(1871)年(12)月(15)日(12)の同月(12)女子を産む

一 加(1871)年(12)月(15)日(12)の同月(12)女子を産む

一 双(1871)年(12)月(15)日(12)の同月(12)女子を産む

一 小(1871)年(12)月(15)日(12)の同月(12)女子を産む

和蘭支配の事

一 去(1871)年(12)月(15)日(12)の同月(12)女子を産む

一 ス(1871)年(12)月(15)日(12)の同月(12)女子を産む

一 オ(1871)年(12)月(15)日(12)の同月(12)女子を産む

一 ベ(1871)年(12)月(15)日(12)の同月(12)女子を産む

一 日本艦を砲撃し、官報の通達を以て伏せしめんとす
一 倭艦の砲撃

一 南洋の軍艦は日本の海軍に對しては如何なる月と云
ふてありしは、南洋の政府モントラドール地小島軍艦が
未だ南洋の海軍に對しては如何なる月と云ふは、
一 必伏せしめんとす
一 南洋の軍艦は日本の海軍に對しては如何なる月と云
ふてありしは、南洋の政府モントラドール地小島軍艦が

一 南洋の軍艦は日本の海軍に對しては如何なる月と云
ふてありしは、南洋の政府モントラドール地小島軍艦が

一 エテレス支配官官邸にシガポール地の事

一 南洋の軍艦は日本の海軍に對しては如何なる月と云
ふてありしは、南洋の政府モントラドール地小島軍艦が

一 南洋の軍艦は日本の海軍に對しては如何なる月と云
ふてありしは、南洋の政府モントラドール地小島軍艦が

一 南洋の軍艦は日本の海軍に對しては如何なる月と云
ふてありしは、南洋の政府モントラドール地小島軍艦が

一 南洋の軍艦は日本の海軍に對しては如何なる月と云
ふてありしは、南洋の政府モントラドール地小島軍艦が

一 南洋の軍艦は日本の海軍に對しては如何なる月と云
ふてありしは、南洋の政府モントラドール地小島軍艦が

一 南洋の軍艦は日本の海軍に對しては如何なる月と云
ふてありしは、南洋の政府モントラドール地小島軍艦が

一 南洋の軍艦は日本の海軍に對しては如何なる月と云
ふてありしは、南洋の政府モントラドール地小島軍艦が

一 南洋の軍艦は日本の海軍に對しては如何なる月と云
ふてありしは、南洋の政府モントラドール地小島軍艦が

一 後の風説ありシシガポール^{地名} 中清軍機口は海軍を度可
おぼしむる事あり

一 右條の事ハホキーン^{地名}のものとあり

一 ヒルマーの事

一 ^{緬甸}ヒルマー^{地名} 於ては永年三月と旬エレス政府とス

一 省々米國の大風浪有る死に移りし事ハ度々後の凡ソ
ビウガール^{地名} 谷より移りてくる事あり

一 お凌ぎや

一 一室は洋多量に捕りし事あり

一 類一むる事ハ度々後海軍を全捕りし事あり

一 アウスタフリーの事

一 アウスタフリー^{地名} 於て黄金の土産は増しは度々日あり

一 清國の事ハ運送はし地事あり

一 を語り者ハあり於て事あり

一 ノルボウ^{地名} 於て又大船の事あり

一 法皇の事

一 法皇の事ハ度々所タラフス^{地名} 外あり

一 事相は度々あり

且又ホツテンドットの心算不慮に或る人殺しは付法にあらば
 其後の凡ゆるはフアール河を占領を離るは和議の事此の荒政の
 お宮中の諸人の預の政法先頃お宮中知古民人の和議はりし制てカフ
 地の前中安前方の地にお宮中知古民人の和議はりし
 一 其後の凡ゆるはフアール河を占領を離るは和議の事此の荒政の
 お宮中の諸人の預の政法先頃お宮中知古民人の和議はりし制てカフ
 一 色岡彼地にお宮中知古民人の和議はりし

一 唐島の二件 海軍及びお宮中知古民人の和議はりし

南京又は所被擄は唐中其度つに子人の一擄方の者、既にお宮中
 中、此の事と月以唐島帝の如勢と一擄方とも安合戦首に
 一 時一擄方の散るは故の事及びお宮中知古民人の和議はりし
 一 府南島帝の事、唐中其度つに子人の一擄方の者、既にお宮中
 一 ツワンチン^{國中}若^地超て靜港にお宮中知古民人の和議はりし
 唐中其度つに子人の一擄方の者、既にお宮中知古民人の和議はりし
 お止所登るは海軍増長するの事、故多の唐中其度つに子人の一擄方の者、既にお宮中
 多の海軍捕りし事、唐中其度つに子人の一擄方の者、既にお宮中
 一 擄汽堂の擄るはホーナン^{河南}地の十三^{南陽府}井^及ひ^{徽州府}ケイ^淮ウ^淮ホ^の諸府を統^統

一 西ノ入ヤ

一 近世のエケレス洋新記の説は、^一西ノ入ヤノ由ル所ノ南島帝新説也。

一 近世を離れ、^一説ハ先ニ其説の信ト云ハル者ト一擧げ流堂ノ國軍

トシテ、^一西ノ入ヤト一擧げ流堂ノ國軍トシテ、^一擧げ流堂ノ國軍トシテ、

一 され、^一後ノ信ト云ハル者ト

一 西ノ入ヤノ説ハ、^一西ノ入ヤノ由ル所ノ南島帝新説也。

一 同ノ入ヤノ擧げ流堂ノ國軍トシテ、

一 擧げ流堂ノ國軍トシテ、^一擧げ流堂ノ國軍トシテ、

一 擧げ流堂ノ國軍トシテ、^一擧げ流堂ノ國軍トシテ、

一 西ノ入ヤノ説ハ、^一西ノ入ヤノ由ル所ノ南島帝新説也。

一 擧げ流堂ノ國軍トシテ、^一擧げ流堂ノ國軍トシテ、

一 擧げ流堂ノ國軍トシテ、^一擧げ流堂ノ國軍トシテ、

一 擧げ流堂ノ國軍トシテ、^一擧げ流堂ノ國軍トシテ、

一 擧げ流堂ノ國軍トシテ、^一擧げ流堂ノ國軍トシテ、

一 擧げ流堂ノ國軍トシテ、^一擧げ流堂ノ國軍トシテ、

一 擧げ流堂ノ國軍トシテ、^一擧げ流堂ノ國軍トシテ、

一 擧げ流堂ノ國軍トシテ、^一擧げ流堂ノ國軍トシテ、

一 擧げ流堂ノ國軍トシテ、^一擧げ流堂ノ國軍トシテ、

初めは、その山々が又何時のイエレス書記の説から、*ボウリン*の海
沿の力を命を奪った。島の西端の入り口を拒否するものも、*ボウリン*の海
一帯と、*ボウリン*の海

大ブリタニヤ及イールランド島の事

一 昨年の秋及びこの秋を大ブリタニヤ及びイールランドの海沿
一 島の西端の入り口を拒否するものも、*ボウリン*の海

一 島の西端の入り口を拒否するものも、*ボウリン*の海

多くは、*ボウリン*の海

一 *ボウリン*の海

一 *ボウリン*の海

フランス島の事

一 *ボウリン*の海

一 *ボウリン*の海

*ボウリン*の海

一 *ボウリン*の海

ホルトカルの事

直後の者目数十月の月トトニシテ其の事及び其の事
トエグイプテ其の事ギリシヤト云々
多クフランスエケレスの事扱ト云々

一 既而村をトルコ國は直屬し
ト云フフランスの軍艦ニ艘梅を云々

一 既而村をトルコ國は直屬し
ト云フフランスの軍艦ニ艘梅を云々

一 既而村をトルコ國は直屬し
ト云フフランスの軍艦ニ艘梅を云々

一 既而村をトルコ國は直屬し
ト云フフランスの軍艦ニ艘梅を云々

一 既而村をトルコ國は直屬し
ト云フフランスの軍艦ニ艘梅を云々

一 既而村をトルコ國は直屬し
ト云フフランスの軍艦ニ艘梅を云々

一 此等事は十月晦日トルコの船艦がボニアアドリアの門にシノーペ^名に在る艦隊
 一 艦の海軍に因て凡破壊せしめられアカルジツ^名の艦隊がカルジツ^名に在りし
 トルコ艦隊の海軍の由り致す可成り及し

一 アルトニツトナ^名及びヒエターナー^名はあつて流血及かの言戦ありし
 一 エケレスフランス艦のあつてトルコ艦隊の艦隊は初
 向ふ既エケレス艦フランス艦のあつて艦隊は初
 向ふ既エケレス艦フランス艦のあつて艦隊は初

一 トルコにあるエケレスの軍艦はカムブリッド^名の諸艦コロトラス^名艦
 を大抵として一隊の指揮ありし

一 トルコにあるフランス軍艦は、海軍のフランス帝の甥すめりしナポ
 レオン^名及びマルシカル^名アルナウト^名を指揮して一隊の指揮ありし
 一 艦隊はエケレスの艦隊アドミラル^名テュンタス^名の指揮してありし
 一 アドミラル^名フリユアット^名の艦隊は、艦隊の艦隊ありし
 一 エケレスフランスのあつて政府の艦隊は、艦隊の艦隊ありし
 既エケレス艦隊は、艦隊の艦隊ありし
 一 艦隊の指揮の艦隊は、艦隊の艦隊ありし
 一 艦隊の艦隊は、艦隊の艦隊ありし
 一 艦隊の艦隊は、艦隊の艦隊ありし

ス人の指揮を命ぜられた地を或るものとして

一 島西軍東海軍艦隊の掃蕩に二一船を遣はし二船を遣はし

一 船のあつて一兵艦を遣はし二船を遣はし

一 十の艘を加へて海軍の艦隊を遣はし

一 二一船十八艘の艦隊を遣はし

一 コレハト船十艘を遣はし

一 少船の助けを以て海軍の艦隊を遣はし

一 艦隊の首を以て海軍の艦隊を遣はし

一 インドの大臣は海軍の首を以て海軍の艦隊を遣はし

サコル及びシアン・シリコルト

一 けさの合戦に於て海軍の首を以て海軍の艦隊を遣はし

一 海軍の首を以て海軍の艦隊を遣はし

一 海軍の首を以て海軍の艦隊を遣はし

一 海軍の首を以て海軍の艦隊を遣はし

一 海軍の首を以て海軍の艦隊を遣はし

一 海軍の首を以て海軍の艦隊を遣はし

一 カラファット

一 説書

一 公子。パスキニス人。魚目。軍艦の指揮。トルコ軍艦の指揮。

一 ウドメル。パカト。人の計り。魚目。

一 魚目。月。上。魚目。軍艦。トルコ。の艦。トルコ。軍艦。ド。ウ。川。を。渡。す。

トルコ。軍艦。勝利。を。得。る。事。あり。

一 魚目。月。上。日。ダ。ル。ニ。チ。ヤ。海。軍。の。二。所。テ。イ。リ。ス。テ。記。言。事。は。其。の。

初。向。して。水。を。汲。む。よ。エ。ケ。レ。ス。魚。フ。ラ。ン。シ。ス。魚。カ。ス。テ。シ。レ。イ。キ。魚。フ。ロ。イ。

ス。思。ふ。が。獨。り。魚。目。軍。艦。トルコ。の。言。事。も。あ。る。事。あり。

と。い。ふ。事。あり。

一 エケレス。魚。の。腹。背。自。在。を。得。の。魚。目。軍。艦。毎。日。其。の。腹。も。腹。は。

唯。之。日。の。月。魚。目。軍。艦。十。日。後。を。捕。り。

一 魚。目。軍。艦。の。魚。目。軍。艦。カ。デ。ス。サ。記。言。事。の。外。は。な。し。

一 フ。ラ。ン。シ。ス。魚。エ。ケ。レ。ス。魚。の。腹。背。の。言。事。月。上。日。ボ。ン。ノ。事。あり。

皆。を。焼。き。し。事。あり。

一 シ。リ。ス。テ。イ。リ。ヤ。地。魚。目。軍。艦。より。と。り。し。事。焼。き。し。事。あり。カ。ラ。フ。ア。ッ。

一 下。地。魚。目。軍。艦。トルコ。を。捕。り。ド。ブ。リ。エ。ツ。サ。地。魚。

一 魚。目。軍。艦。の。外。は。亦。其。の。名。も。殺。多。事。あり。

一 者。あり。

一 メキシコ州の於て合衆國の領土に居る者合衆國の領土に居る者極

くメキシコ州の領土に居る者メキシコ州の領土に居る者極

くメキシコ州の領土に居る者メキシコ州の領土に居る者極

一 合衆國の領土に居る者合衆國の領土に居る者極

一 領土に居る者合衆國の領土に居る者極

一 メキシコ州の領土に居る者メキシコ州の領土に居る者極

一 エリアドール地帯の事

一 エリアドール地帯の領土に居る者合衆國の領土に居る者極

一 領土に居る者合衆國の領土に居る者極

一 子ウヨルク地のバルダシヤ州の領土に居る者合衆國の領土に居る者極

一 外大道の領土に居る者合衆國の領土に居る者極

一 合衆國の領土に居る者合衆國の領土に居る者極

一 カリフォルニア地帯の事

一 カリフォルニア地帯の領土に居る者合衆國の領土に居る者極

一 領土に居る者合衆國の領土に居る者極

一 カリフォルニア地帯の領土に居る者合衆國の領土に居る者極

一 領土に居る者合衆國の領土に居る者極

一 領土に居る者合衆國の領土に居る者極

フナシス船より

一 コルヘット船 蕨船 同古門 同ヘアウトイ船

一 コスタンチネ船 フレガット船 同 エステモウタフェル船

一 ホルトカール船より

一 トンヨア船 同ロペス船

和宗の船 船名 同

一 フレカント船 プリンステルキ、テルネンテシ船 同アセ、フラー、ホウク、ケースト名

一 同 同セテ、スタイテニス、セテグラス船

一 コルヘット船 フアンシスヘイキ船 同ベサウフアケ船

一 同 ホルカス船 同アベチルロットテエスキユレイ船

一 同 シユマタフ船 同ハイプフ船

一 同 子ハレイシア船 同イ、デ、ハイン船

一 ブリツキ船 デハイイ船 同エフコウリー、ン、デ、ト、テ、コ、ヘ、カ、ル、ト船

一 アトワイース、ブリツキ船 ペイラテス船 同ウエ、ア、ケ、レ、イ、子船

一 スクロー子ルブリツキ船 アムホン船 同イ、ア、カ、フ、ア、ン、ハ、ス、ル、ト船

一 同 パタシク船 同ハアマイエル船

一 同 サハルア船 同ウエ、ア、ケ、ル、ド、ル船

一 同 ナバンタイ船 同ウエ、ア、ヘ、ル、グ、ホ、イ、ス船

一同 サウシール 上17

同 ウエイエルズドルト 上17

一同 セイルプ 上17

同 ウエイハイユルファンテルスターテン 上17

一同 エクモント 上17

同 イハベラール 上17

一同 スクロー子ル 上17

同 プファンウエイ 上17

一同 アリエバ 上17

同 ウエユフト 上17

一同 船ゲテフ 上17

同 ペテイブヘツク 上17

一同 メラピー 上17

同 イイファンデンモレーン 上17

一同 エトナ 上17

同 エファンファンテイ子 上17

一同 フェスフイユス 上17

同 ペアマツテイセン 上17

一同 シュリナーメ 上17

同 アルケンホウトスコククル 上17

一同 サマラング 上17

同 ゲゲコヒユス 上17

一同 セレベス 上17

同 エアエルケトルリグ 上17

一同 ホル子カ 上17

同 ゲテイ、モスス 上17

一同 バターフイア 上17

同 イウエファン、ビスセリツキ 上17

一同 石火矢赤山 上17

同 ベファンボングファアウシ 上17

一同 アメリカ州海軍 上17

一同 口 上17

一同 レクシングトン 上17

同 ガラスソシ 上17

一 マセドニア^上コルヘツト^上 大蛇^上ホニ^上 月 アブボツト^上

一 ミスシスシツセ^上 葛^上ホ^上 月 十^上 月 レー^上

一 ポウハツタシ^上 同 月 九^上 月 エセキリユー子^上

一 フレイモウト^上コルヘツト^上 月 廿二^上 月 ケルレイ^上

一 ポルポイセ^上ブリツキ^上 月 十二^上 月 ロラント^上

一 キユエー^上 葛^上ホ^上 月 二^上 月 タイロル^上

一 サルラトカ^上コルヘツト^上 月 廿^上 月 フルケル^上

一 ソウタムプトシ^上 同^上 月 廿^上 月 ホイル^上

一 シユツプレイ^上 同^上 月 廿^上 月 シングラール^上

一 シユスキユバシ^上 葛^上ホ^上 月 八^上 月 ビユカナン^上

一 フアンダリナ^上コルヘツト^上 月 廿^上 月 ポーペ^上

一 フインキユー子^上 同^上 月 リングゴルト^上

右の通和の字

右の通和の字

右の通和の字

右の通和の字

右の通和の字

右の通和の字

右の通和の字

摘錄卷之四

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

